

Kodak

スキャナー i800 シリーズ

ユーザーズ ガイド

A-61169_ja
Part No. 3E9708

コダック スキャナー i800 シリーズの安全および設置に関する情報

重要: 装置は、資格のある人物によって設置してください。

警告: 高電圧です。主電源を切ってから設置してください。

警告: ランプを交換する前に、必ずスキャナーの電源をオフにし、10分以上放置してランプの温度が下がってから作業してください (次の警告ラベルを参照してください)。



注意: 表面が熱くなっていますので、触れないでください。

إحذر: سطح ساخن، تفادي الإحتكاك

POZOR: Horký povrch -- nedotýkat se

DIKKAT: Hareketli parçalar, dokunmayın



注意: 稼働中の部品には手を触れないでください。

إحذر: أجزاء متحركة، تفادي الإحتكاك

POZOR: Pohybující secástie -- nedotýkat se

DIKKAT: Sıcak yüzey, dokunmayın

ユーザへの注意事項

ユーザや従業員は、どの機械の操作時にも適用される常識的な注意事項を遵守する必要があります。以下に一例を挙げますが、これだけに限りません。

- ゆったりした衣服は着用せず、袖口のボタンは留めてください。
- じゃまになるジュエリー、ブレスレット、大きい指輪、長いネックレス等は外してください。
- 髪の毛の長さは短めにし、必要に応じてヘア ネットを使用するなど、長い場合はまとめる。
- 機械に巻き込まれる可能性のある物はすべて取り除いてください。
- 精神的に注意力が保てるように、十分な休息を取る。

監督者は、従業員らの手順を総括し、**Kodak i800** シリーズスキャナまたはその他の機械装置の操作説明書に含まれる注意事項を遵守させる必要があります。

電磁環境両立性の告知

ヨーロッパ連合

この製品は、クラス A 製品です。この製品を家庭で使用すると、電波障害が起きることがあります。その場合には適切な対応が必要になります。

アメリカ合衆国

この装置はテストによって FCC 規則の 15 条によるクラス A デジタル装置の条件に準拠していることが認定されています。これらの条件は、装置が商業用環境で使用される場合に有害電波に対して妥当な防止策を提供するために指定されています。この装置は電磁波エネルギーを発生、使用し、放出する能力があります。また、指示マニュアルに従って設置および使用しない場合は無線通信に障害が起きる可能性があります。住宅地でこの装置を使用すると、電波障害が起きる可能性があります。その場合はユーザの負担による解決が必要になることがあります。

台灣

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

日本 クラス A

この装置は、クラス A 情報処理装置(商工業地域において使用されるべき情報処理機器)で、商工業地区での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しています。

したがって、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビ受信機などに受信障害を与えることがあります。

取扱説明書に従い、正しく取り扱ってください。

中国 クラス A

声 明

此为 A 级产品,在生活环境中,该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下,可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

1	はじめに.....	1-1
	製品の説明	1-2
	標準機能.....	1-2
	標準設定.....	1-3
	搬送速度.....	1-3
	読み取り速度および解像度	1-3
	スキャナーの仕様	1-4
	外形寸法	1-4
	最小必要空間	1-4
	騒音レベル.....	1-4
	電圧、消費電力、および周波数	1-4
	Power System 接続	1-4
	設置環境	1-4
	外部コンポーネント	1-5
	スキャナーの背面.....	1-5
	環境に関する情報と装置の廃棄	1-6
2	スキャナーの使用法	2-1
	スキャナーの電源をオンにする	2-1
	ドキュメントの準備	2-2
	受け入れ可能なドキュメント マテリアル	2-3
	推奨する用紙重量	2-3
	受け入れ可能なドキュメントのサイズ	2-3
	自動フィード用のドキュメント バッチの最大高さ	2-4
	上下にカールしているドキュメント	2-4
	給紙トレイのサイドガイドの調整	2-4
	アウトプットトレイの調整	2-5
	ドキュメントのスキャン.....	2-6
	長めのドキュメントをフィーダにセットする	2-7
	連続フィードおよび手動フィード	2-7
	厚いドキュメントのフィード	2-8

3	オペレータ コントロール パネルの機能	3-1
	スキャナーを使用可能および使用不可にする	3-2
	スキャナーを使用可能にする	3-2
	スキャナーを使用不可にする	3-3
	コントロール パネル メニューで各種機能に移動する	3-4
	情報へのアクセス	3-5
	エレベータ トレイを下げる	3-5
	[診断設定] メニューの使用	3-5
	セルフテストまたは拡張セルフテストの実行	3-6
	カウント オンリー モードでの実行	3-6
	印字テストの実行	3-7
	パッチ テストの実行	3-8
	[設定] メニューの使用	3-9
	アラーム音量の変更	3-9
	表示コントラストの変更	3-10
	SCSI ID の変更	3-10
	SCSI ターミネータの変更	3-11
	エレベータ トレイの位置の設定	3-12
	スキャナーのキャリブレーション	3-13
	搬送部のジョギング	3-14
	プログラマブル キーの割り当て	3-14
4	ドキュメント プリンタとパッチ リーダー	4-1
	ドキュメント プリンタ	4-1
	印字する情報	4-1
	水平方向の印字位置	4-3
	インク カートリッジのパージ	4-4
	インク カートリッジの交換	4-5
	インク吸い取りストリップの交換	4-7
	プリンタの位置の設定	4-9
	パッチ リーダー	4-10
	パッチ タイプ	4-10
	パッチ コードの配置	4-11
	パッチ リーダーの位置の設定	4-12

5	メンテナンス	5-1
	ペーパー パスのクリーニング	5-1
	搬送部の上側のクリーニング	5-2
	垂直転送部分のクリーニング	5-5
	搬送部のクリーニング	5-6
	プリンタ ヘッドとパッチ ヘッドのクリーニング	5-9
	イメージガイドのクリーニング	5-10
	メンテナンスおよび交換手順	5-11
	フィード モジュールとフィード モジュール タイヤの交換	5-12
	フィード モジュールの交換	5-12
	フィード モジュール タイヤの交換.....	5-13
	セパレーション ローラとタイヤ.....	5-15
	セパレーション ローラの交換.....	5-15
	セパレーション ローラ タイヤの交換.....	5-16
	セパレーション パッドの交換.....	5-16
	フィード モジュール タイヤとセパレーション ローラ タイヤのクリーニング	5-17
	ランプの交換.....	5-17
	イメージガイドの交換	5-20
	自動センタリング フィードのサイドガイドのカスタマイズ ...	5-21
	アウトプットトレイ サイドガイドの変更	5-23
	消耗品の注文.....	5-25
6	トラブルシューティング/メッセージ	6-1
	ドキュメント搬送路からドキュメントを取り除く方法.....	6-1
	メッセージ リスト	6-5
	ドキュメント センサの位置	6-10
	問題解決チャート	6-11

1 はじめに

この『ユーザーズガイド』では、コダック スキャナー i800 シリーズの機能および手順を説明します。このガイドの情報は、特に指定がない限り、すべての i800 シリーズに適用されます。

第 1 章 はじめに — 製品の説明、機能と利点、仕様、外部コンポーネントの概要、ユーザ向けの注意など、スキャナー i800 シリーズに関する一般的な情報を説明します。

第 2 章 スキャナーの使用法 — スキャンするドキュメントの準備方法、エレベータトレイとアウトプットトレイの調整、スキャナーをオンおよびオフにする方法、ドキュメントのスキャン方法などを説明します。

第 3 章 オペレータ コントロール パネルの機能 — オペレータ コントロール パネルのアイコンの一覧を示し、オペレータ コントロール パネルを使用して実行できる機能を説明します。

第 4 章 ドキュメント プリンタおよびパッチ リーダー — ドキュメント プリンタ 1 およびパッチ リーダーの使用法と位置を変更する方法について説明します。また、この章では、インク カートリッジの変更およびパージの方法についても説明します。

第 5 章 メンテナンス — フィード モジュールとタイヤ、セパレーション ロールとタイヤ、露光ランプ、およびイメージ ガイドなど、i800 スキャナーのメンテナンス手順を詳細に説明します。

第 6 章 トラブルシューティング/メッセージ — メッセージ リスト、問題解決チャート、詰まったドキュメントを取り除く方法などを説明します。

製品の説明

コダック スキャナー i800 シリーズは、白黒、カラーいずれのドキュメント、斜線の入った背景または前景を持つドキュメント、またはサイズの異なるドキュメントが混在している場合でも最適なマシンです。これらのスキャナーでは新しいユーザ インタフェースが採用され、高画質なイメージを実現するコダック独自の技術が取り入れられました。

標準機能

コダック スキャナー i800 シリーズは、以下の機能を標準で提供します。

- カラーおよび白黒イメージの同時出力 (カラーは i820 スキャナーおよび i840 スキャナーのみ)
- SurePath による 用紙の処理。主な特長として、以下の項目があります。
 - 設定したバッチ レベルに自動的に戻る 1,000 フィーダーのクイック セット エレベータ
 - 1 枚ずつフィードする自動フィーダおよびオペレータ補助用のドキュメント スタックエレベータ レベルを 25、250、500、750、1000 の各枚数に調整できるドキュメント スタック
 - 超音波技術を採用し、高い信頼性を誇る 3D 重送検知機能
 - 中央揃え、左寄せ、右寄せを選択できる柔軟なドキュメント フィード機能
 - 異なるサイズのドキュメントに対応できる調整可能なアウトプットトレイ
- 1 度の処理で高画質なカラー/白黒イメージを実現する d Tri-Color Plus (トライカラー プラス) アレイ
- オペレータが固定のサブセクションまたはゾーンを選択できるゾーン プロセッシング機能 (ゾーン指定は i820 スキャナーおよび i840 スキャナーのみ)
- iThresholding 機能付きの PerfectPage (パーフェクトページ) (カラーおよび白黒)
- iThresholding、ATP (アダプティブ スレッショルド プロセッシング)、イメージ圧縮、染み取り、誤差拡散、白黒スキニングのディザ処理機能内蔵
- エレクトロニック カラー ドロップアウト
- カラー オンザフライ
- カスタム カラー テーブルに対応
- 白黒でもカラーでも広範囲なイメージの出力解像度
- オンサイト、最小限のダウンタイムで、簡単にモデルのアップグレードが可能
- ISIS ドライバおよび TWAIN ドライバ同梱
- 7つのコントロール ボタンのみに集約した、分かりやすいオペレータ インタフェース
- 簡単に消耗品を交換できる使いやすさ
- キャリブレーションの警告を伝えるイルミネーション トラッキング
- 診断およびモジュラーの設計により簡素化されたサービスと最小限のダウンタイム
- パッチ リーダの導入によるイメージアドレス機能
- スキャンしたドキュメントに印字できるドキュメント プリンタ 1

標準設定

コダック スキャナー i800 シリーズには、4 つのモデルがあります。

- **コダック スキャナー i810 (白黒)** — 白黒 2 値のスキャニングで最高 120 ppm の読み取り速度
- **コダック スキャナー i820** — カラーおよび白黒 2 値の同時スキャニングで最高 120 ppm の読み取り速度
- **コダック スキャナー i830 (白黒)** — 白黒 2 値のスキャニングで、最高 160 ppm の読み取り速度
- **コダック スキャナー i840** — カラーおよび白黒 2 値の同時スキャニングで最高 160 ppm の読み取り速度

搬送速度

スキャナーの最大および最小の用紙搬送速度および搬送容量は次のとおりです。

寸法	最小	最大	処理モード
長さ	6.4 cm (2.5 インチ)	27.9 cm (11 インチ)	自動フィード
長さ	27.9 cm (11 インチ)	43.2 cm (17 インチ)	自動フィード (延長部分を使用)
長さ	43.2 cm (17 インチ)	76.1 cm (30 インチ)	オペレータによる補助
幅	6.4 cm (2.5 インチ)	8.9 cm (3.5 インチ)	オペレータによる補助
幅	8.9 cm (3.5 インチ)	30.5 cm (12 インチ)*	自動フィード

* スキャナーでは、幅が 30.5 cm (12 インチ) のドキュメントまでフィードできますが、実際にスキャンできる領域は 29.7 cm (11.7 インチ) の幅の部分です。

読み取り速度および解像度

スキャナー i800 シリーズの読み取り速度と解像度を次の表に示します。

スキャナー	処理枚数 (ppm)	処理速度 (ips)	白黒解像度 (dpi)	カラー解像度 (dpi)
i810	120	21	200	適用なし
	80	14	300、240	
	45	14	400	
i820	120	21	200	200、150、100 200、150 200
	80	14	300、240	
	45*	14	400	
i830	160	28	200	適用なし 適用なし 適用なし
	106	18.67	300、240	
	60	18.67	400	
i840	160	28	200	200、150、100 300*、200、150、100 300、200
	106	18.67	300、240	
	60*	18.67	400	

* これらの設定での処理枚数は、システムの仕様によって異なります。

スキャナーの仕様

コダック スキャナー i800 シリーズの寸法とスキャナーの周囲に必要な空間は以下のとおりです。

外形寸法

高さ: 124 cm (49 インチ)
幅: 66 cm (26 インチ)
奥行: 127 cm (50 インチ)
重量: 204 kg (450 ポンド) (梱包材込み)
188 kg (414 ポンド) (梱包材なし)

最小必要空間

スキャナー i800 シリーズの通常の操作とメンテナンス作業に必要な最小空間を次の表に示します。

	前面	背後	右側	左側	上部
通常使用時	適用なし	10 cm 4 インチ	10 cm 4 インチ	10 cm 4 インチ	25 cm 10 インチ
メンテナンス時	102 cm 40 インチ	10 cm 4 インチ	61 cm 24 インチ	10 cm 4 インチ	61 cm 24 インチ

騒音レベル

- オペレータ位置スタンバイ モード:
 - 騒音レベル (L_A) 39.8 dB(A)
- オペレータ位置稼動操作モード:
 - 騒音レベル (L_A) 65.4 dB(A)
 - 130 dB(C) を超える瞬間ピーク値: なし
- 騒音レベル (L_{WA})
 - スタンバイ時 56.4 dB(A)
 - 稼動時 72.0 dB(A)

注記: すべてのデータは半無響室で DIN 45635、ANSI S12.10-1985、および ISO 7779 に基づき測定されました。

電圧、消費電力、および周波数

AC 100 ~ 127 V、6.5 A、50/60 Hz
AC 200 ~ 240 V、3.5 A、50/60 Hz

Power System 接続

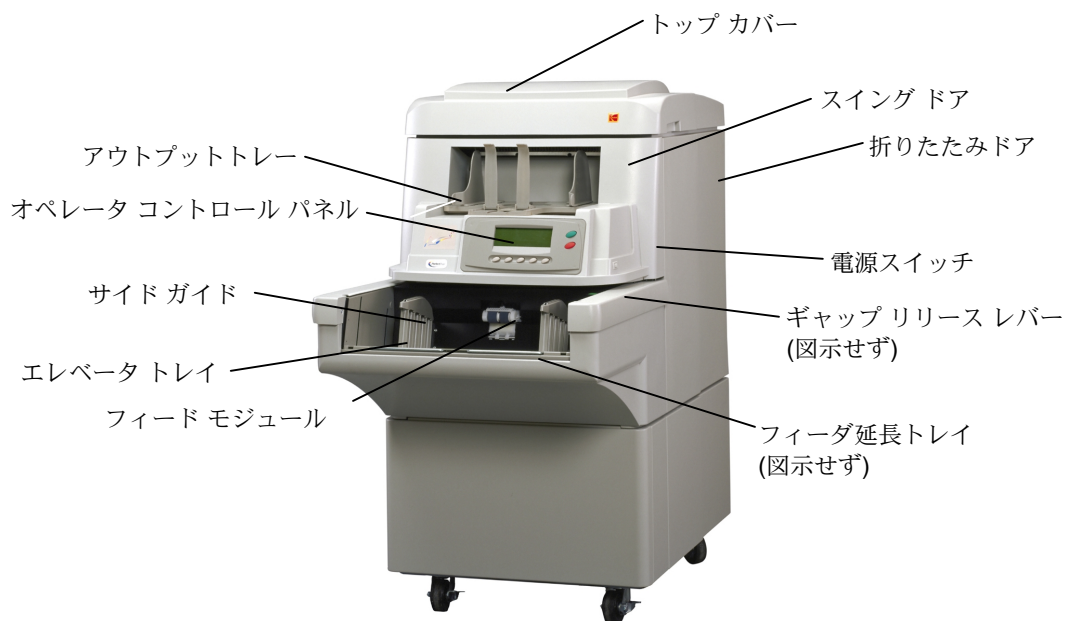
この製品は、相間電圧 230V のノルウェー仕様 IT Power System に接続するようにも設計されています。

設置環境

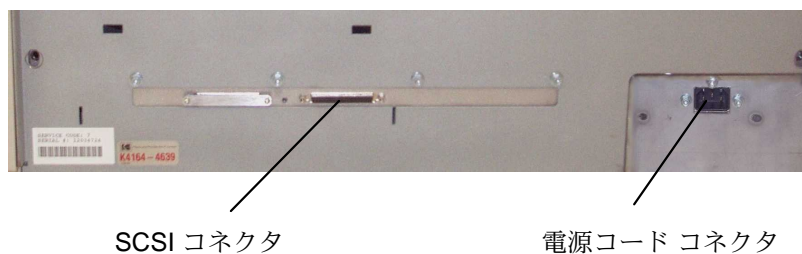
温度: 15 ~ 35°C (59 ~ 95°F)
湿度: 15 ~ 76% (乾式湿度計)
高度: 2438 メートル (8000 フィート) まで

コンポーネント外部

スキャナーの外部コンポーネントの場所については、下の図を参照してください。



スキャナーの背面



環境に関する情報と装置の 廃棄

コダックスキャナー i800 シリーズは、環境に対する世界中の要件に対応できるように設計されています。

- メンテナンスまたはサービスの結果交換された消耗品の廃棄については、ガイドラインを入手できます。地方自治体の規制に従うか、詳細はお近くのコダックにお問い合わせください。
- 梱包材はリサイクルできます。
- パーツは再利用またはリサイクルできるように設計されています。
- コダックスキャナー i800 シリーズでは、サーキットボードに鉛、ランプに水銀が使用されています。これらの物質の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、地方自治体 (または電機機器の業界団体: www.eiae.org) にお問い合わせください。

2 スキャナーの使用法

この章では、次の操作手順について説明します。

- スキャナーの電源をオンにする
- ドキュメントの準備
- 給紙トレイ、サイドガイド、およびアウトプットトレイの調整
- ドキュメントのスキャン
- 長いドキュメントのフィード
- 連続フィードおよび手動フィード

キャリブレーション、プログラマブルキーの使用、重送検知機能の使用、エレベータレベルの設定などの他の機能は、オペレータコントロールパネルを使用して実行できます。詳細については、第3章「オペレータコントロールパネルの機能」を参照してください。

スキャナーの電源をオンにする

電源をオンにするには、次のようにします。

- 電源スイッチをオンの位置にします。



オン/オフ
スイッチ

オペレータコントロールパネルにメニューバーが表示されると、スキャナーは操作の準備が完了しています。



重要：必ずスキャナーの電源を入れ、準備完了状態にしてから、ホストコンピュータの電源を入れてください。

ドキュメントの準備

コダック スキャナーは、最も一般的なビジネス用途で使用されている各種ドキュメントの広範囲なスペクトルを代表するさまざまなドキュメントでテストされています。以下に示す推奨されるドキュメントの仕様の範囲内でドキュメントをスキャンすることで、最適なスキャナー性能を実現できます。推奨される仕様の範囲を外れてドキュメントをスキャンすると、スキャナーの信頼性、画像品質、あるいは耐久寿命の面で好ましくない結果を招く可能性があります。

ドキュメントがスキャナーに容易にフィードされることを確認してから、スキャンを開始してください。先端が良好で清潔なドキュメントをフィードすることで、最適なパフォーマンスを得ることができます。つまり、フィーダに最初に入る用紙の端部が可能な限りベストの状態である必要があります。

スキャン用のドキュメントを準備するときは、次のガイドラインに従ってください。

- ステープル、ゴムバンド、剥がれそうなメンディングテープ、あるいはペーパークリップを取り除きます。
- 縮んだエッジをまっすぐ伸ばし、破れたドキュメントをテープで補修します。
- 破れたエッジを切り取ります (ステノペーパー、穴付きのエッジ、トラクタフィードエッジなど)。破れたエッジを切り取ることができない場合、別の向きでフィードして見て、どの向きでフィードしたほうが最適か判定してください。
- スキャナーにフィードするまとまったドキュメントは、前縁が共通であるように配置する必要があります。ドキュメントは、エレベータトレイに左寄せ、右寄せ、中央揃えで配置することができ、スキャナーに一度にフィードできます。

重要： ドキュメントの適切な位置合わせは極めて重要です。ドキュメントは、両方のフィードモジュールタイヤの下にフィードされる必要があります。



ギャップリリース
レバー

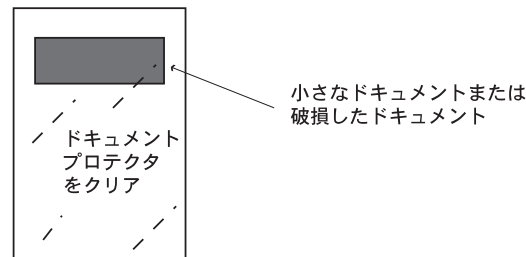
フィードモジュール
タイヤ

- 破れたり、損傷、あるいは破損したページでも、問題なくスキャナーに搬送できます。ただし、考えられるすべての種類の傷んだ用紙を搬送できるわけではありません。損傷したドキュメントが自動搬送でフィードされない場合は、ドキュメントを手動でフィードしてください。必要に応じてギャップリリースレバーを使用してください。

- かなり傷んだドキュメントの場合は、次の制限に従って、クリアドキュメントプロテクタを使用することができます。
 - クリアドキュメントプロテクタを使用するときは、手動によるフィードをお勧めします。
 - クリアドキュメントプロテクタのドキュメントは、両方のフィードモジュールタイヤの下をフィードする必要があります。
 - クリアドキュメントプロテクタを使ってドキュメントを手動でフィードするには、重送検知を無効にする必要があります。

注：ドキュメントプロテクタを使用するときは、最初に解放端ではなくドキュメントプロテクタを折り畳んでフィードしてください。

ドキュメントプロテクタを使用するときの正しいドキュメントの準備方法を下に示します。



受け入れ可能なドキュメント マテリアル

- オリジナルおよびリサイクル用紙
- 印画紙
- ボンド (レーザー、インクジェットなど)
- ノンカーボン紙 (一部のノンカーボン紙には、フィードモジュールやセパレーションタイヤと反応する化学物質が含まれており、タイヤをより頻繁に交換しなければならなくなる場合があります)。
- オフセット用紙 (新聞紙、雑誌用紙など)

推奨する用紙重量

エレベータトレイは、50g (13 ポンド) のボンド用紙から 200g (110 ポンド) のインデックス用紙までの広範囲な重量に対応できます。重いドキュメントは、0.76 mm (0.030 インチ) までのものをフィードできます。重い用紙をフィードするには、ギャップリリースレバーを使用して、手動フィードモードでフィードする必要があります。

受け入れ可能なドキュメント のサイズ

- 長さ:
 - オペレータ補助用のドキュメントスタックを使用した場合、最長 76.2 cm (30 インチ)。無人によるドキュメントフィードの場合は、最長 43.2 cm (17 インチ) です。
 - 最大 6.4 cm (2.5 インチ)。
- 幅:
 - 最大 29.7 cm (11.7 インチ/画像キャプチャ-12 インチ/トランスポート) (A3 幅)
 - 最小自動フィード 8.9 cm (3.5 インチ)
 - 最小手動フィード 6.4 cm (2.5 インチ)

自動フィード用の ドキュメントバッチの最大高さ

バッチドキュメントをフィードする場合、バッチドキュメントの最大高さは10.2 cm (4 インチ) で、約 1,000 枚、75g (20 ポンド) です。エレベータトレイは 25、250、500、750、1,000 枚の各ドキュメントスタックを収容できるように設定できます。

上下にカールしている ドキュメント

エレベータトレイは先端がカールしたドキュメントをいくらか処理できますが、信頼できるフィードを得るには、カールを最小限度に抑える必要があります。スキャンする前に、一定時間ドキュメントを平らな面に置き、ドキュメントが平らになるようにして、カールを最小限度に抑えることをお勧めします。

給紙トレーのサイド ガイドの調整

サイドガイドを中央揃えや左または右寄せのフィードに合わせて調整することで、種々のフィーディング要件を持つさまざまな用途に対応することができます。最適なペーパーハンドリング性能を得るには、中央揃えによるフィードをお勧めします。両側のサイドガイドは、一緒にまたは別々に動かすことができます。

1. ガイドを一杯まで引き出し、中央に向けてそれぞれのガイドを一緒に押して位置を調整します。



2. フィードするドキュメントよりも少し広めにサイドガイドを開きます。
3. ドキュメントをエレベータトレイにセットします。
4. ドキュメントに合わせてサイドガイドを調整します。

アウトプットトレイの調整

用紙の種類に合わせて、スタックの方法を変えてください。アウトプットトレイは、最適にスタックできるように前部または後部を高く設定することができます。



アウトプットトレイを傾けて、後部が高くなるようにするには、次の操作を行います。

1. アウトプットトレイを持ち上げ、現在のスロットから引き出します。
2. 必要な高さに合うスロットにアウトプットトレイを挿入します。

アウトプットトレイを傾けて、前部が高くなるようにするには、次の操作を行います。

- アウトプットトレイの前部を持ち上げ、高さ調整レグを回して外し、アウトプットトレイの下の溝に挿入します。

注： アウトプットトレイでは、短いサイドガイドを標準で使用します。ただし、ユーザー自身で交換できる高さの高いサイドガイドや自動センターリング用の部品が用意されています。手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。

ドキュメントのスキャン

ドキュメントをスキャンする前に、オペレータコントロールパネルにメニューバーが表示されていることを確認してください。



オペレータ
コントロールパネル

ドキュメントは、両方のフィードモジュールタイヤの下にフィードされる必要があります。高速なスキャンを実現するには、エレベータトレイに横長の向きでドキュメントをフィードしてください（ドキュメントの長い側を先端にします）。

スキャンを開始するには、次の手順に従います。

1. スキャナーをホストからオンにします。
2. フィードするドキュメントをエレベータトレイにセットします。
3. **[開始/再開]** を押します。



[開始/再開] ボタン

[停止/一時停止]
ボタン

注：

- ドキュメントは、両方のフィードモジュールタイヤの下にフィードされる必要があります。
- スキャナーが動作中は、エレベータトレイやドキュメント拡張装置を傾けたりしないでください。傾けたりすると、エレベータトレイで騒音が発生し、ある位置で停止する場合があります。この状況から回復するには、第6章の問題解決チャート「トラブルシューティング/メッセージ」の手順を参照してください。
- 小型のドキュメントは、エレベータトレイの溝を通して落ちる可能性があります。この場合、取り出すのが容易ではないので、小型のドキュメントをフィードする場合は注意が必要です。

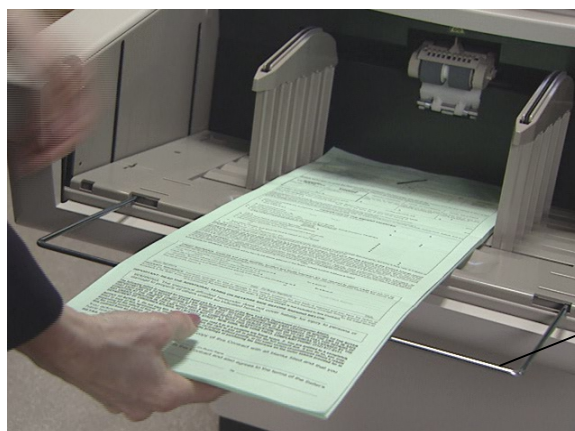
スキャンを停止するには、次の手順に従います。

- **[停止/一時停止]** を押します。

長めのドキュメントを フィーダにセットする

フィーダは、最大で長さ 76.2 cm (30 インチ) までのドキュメントに対応できます。長さ 30.5 cm (12 インチ) を超えるドキュメントをフィードするには、次の手順に従います。

1. ドキュメント拡張装置を取り外します。



2. エレベータトレイにドキュメントをセットします。

注： 長さ 43.2 cm (17 インチ) を超えるドキュメントをフィードする場合は、オペレータ補助用のドキュメントスタックが必要になります。

連続フィードおよび手動 フィード

連続フィードでは、追加のドキュメントをエレベータトレイにセットすることができます (オペレータ補助用のドキュメントスタックが必要)。連続スキャン中、いつでも追加のドキュメントをインプットスタックの下部に追加できます。連続フィードおよび手動フィード操作の場合、エレベータ位置を 25 に設定する必要があります。

バッチドキュメントを追加するには、次の手順に従います。

- スタックの隅をゆっくり持ち上げ、最後のドキュメントの下側にドキュメントを追加して、エレベータトレイのバッチの下部にドキュメントの少量のスタックを追加します。



余分な隙間を必要とするかなり傷んだドキュメント、封筒、あるいは他の厚いドキュメントをスキャンする場合は、手動フィードで操作するお勧めします。この章で前述の「ドキュメントの準備」で説明されているドキュメントのサイズ、重量、枚数などのガイドラインに従ってください。

厚いドキュメントの フィード

厚いドキュメントをフィードするには、次の手順に従います。

1. ギャップ リリース レバーを押した状態で保持します。これにより、さらに隙間が確保され、ドキュメントのフィードが容易になります。



ギャップリリース
レバー

2. トランスポートの中に封筒や厚いドキュメントを入れます。複数のドキュメントをスキャンする場合は、一度にトランスポートの中にフィードしてください。
3. ドキュメントがトランスポートの中にフィードされたら、ギャップ リリース レバーを放します。

注： 封筒をフィードする前に、次の手順を実行してください。

- ホストまたはプログラマブル ボタンを使用して重送検知機能を無効にします (スキャナーで重送検知機能が設定されている場合)。
- 封筒が空であること、およびシールされていないことを確認します。
- ギャップ リリース レバーを使用する場合、ドキュメントの最大許容厚さは 0.76 mm (.030 インチ) です。

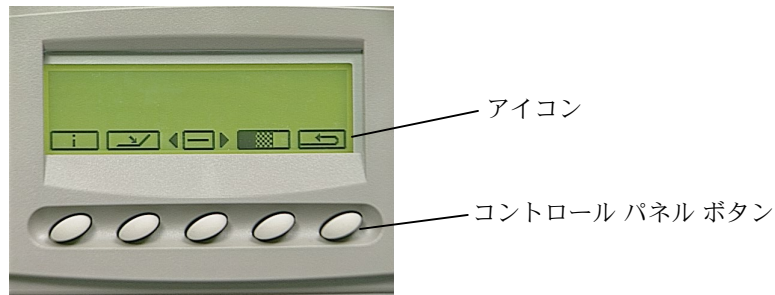
3 オペレータ コントロール パネルの機能

オペレータ コントロール パネルでは多彩な機能を利用できます。この章では、以下の手順について説明します。

- スキャナーを使用可能および使用不可にする
- コントロール パネルの機能の概要
- [コントロール パネル] メニューの各機能への移動
- 情報へのアクセス
- エレベータ トレイを下げる
- [診断設定] メニューの使用
- 診断機能の実行:
 - セルフテストまたは拡張セルフテストの実行
 - カウント オンリー モードでの実行
 - 印字テストの実行
 - パッチ テストの実行
- 設定メニューの使用:
 - アラーム音量の変更
 - 表示コントラストの変更
 - SCSI ID の変更
 - SCSI ターミネータの変更
 - エレベータ トレイの位置の設定
- スキャナーのキャリブレーション
- 搬送部のジョギング
- プログラマブル キーの割り当て

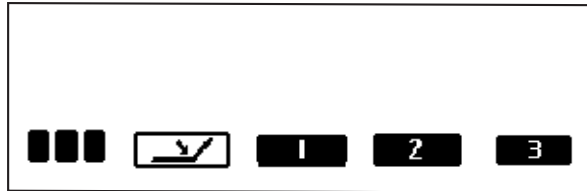
スキャナーを使用可能 および使用不可にする

コントロールパネルの下部にある5つのボタンは、ボタンの上に表示されているアイコンに対応しています。アイコンをアクティブにするには、対応するボタンを押します。



スキャナーを使用可能にする

スキャナーは、ホストコンピュータからのみ使用可能にすることができます。スキャナーが使用可能になると、イメージアドレスレベルの変更、エレベータの設定の無効化、プログラマブルキーの使用などを行うことができます。スキャナーが使用可能なときのオペレータコントロールパネルの外観は次のとおりです。



スキャナーが使用可能なときは、以下の機能を実行できます。

- イメージアドレスレベルを増やします。イメージアドレスレベルに応じて、アイコンは次のように表示されます。
 - 次のイメージアドレスがレベル3であることを示します。
 - 次のイメージアドレスがレベル2であることを示します。
 - 次のイメージアドレスがレベル1であることを示します。
- ☑ エレベータトレイが最も下の位置にない場合に、エレベータトレイを下げます。
- 1 最初のプログラマブル機能を実行します。
- 2 2番目のプログラマブル機能を実行します。
- 3 3番目のプログラマブル機能を実行します。

注：プログラマブルキーは、アプリケーションのセットアップ中に設定することができます。各プログラマブルキーの機能については、システム管理者に問い合わせてください。可能なプログラマブルキーの割り当ては次のとおりです。

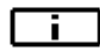
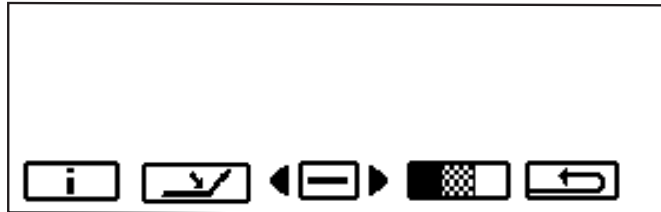
- スキャナー機能なし (デフォルト)
- スキャナー ジョブの終了
- バッチの終了
- 次のドキュメントでの重送検知機能を省略
- 次のドキュメントでの印字を省略
- 次のドキュメントでのパッチ認識を省略

スキャナーを使用不可にする

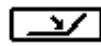
スキャナーはホスト コンピュータから使用不可にするか、プログラマブル キーの1つにジョブの終了機能が割り当てられている場合は、スキャナーから使用不可にすることができます。スキャナーが使用不可のときは、スキャナー情報の表示、エレベータトレイの下降、[診断設定]メニューの使用、スキャナーのキャリブレーション、搬送部のジョグなどの行うことができます。

スキャナーが使用不可のときの機能

最初にスキャナーの電源をオンにし、使用不可にすると、次のアイコンが表示されます。これらの機能は、スキャナーが使用不可のときのみ利用することができます。



情報表示：最後のイメージアドレス、メーター値、スキャナーのシリアル番号などの情報を表示します。



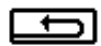
エレベータトレイが最も下の位置にない場合に、エレベータトレイを下げます。




[診断設定]メニューを表示します。このメニューにより追加の機能を実行できます。

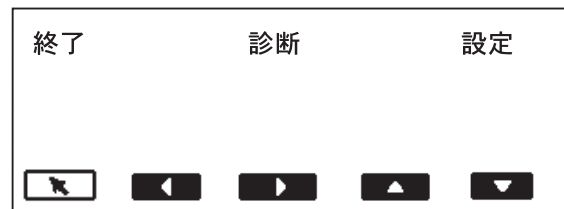


スキャナーのキャリブレーションを行います。



一時的の搬送部をオンにし、詰まったドキュメントを取り除きやすいようにします。

[診断設定]メニュー ボタン  を選択しているときは、次の機能を利用できます。



選択された機能を実行します。このボタンは、*リターン*といえます。



左側の次の選択可能なアイテムに移動します (左向き矢印)。



右側の次の選択可能なアイテムに移動します (右向き矢印)。



上側の次の選択可能なアイテムに移動します (上向き矢印)。

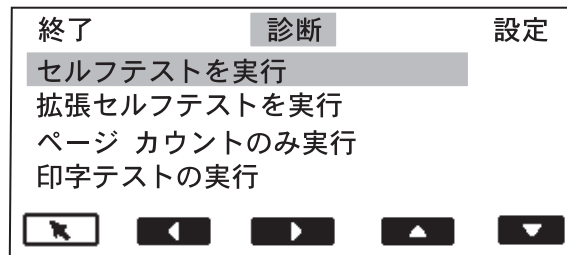


下側の次の選択可能なアイテムに移動します (下向き矢印)。

コントロールパネルメニューで各種機能に移動する

左および右向きの矢印を使用し、メニューバーの上部に沿って移動できます。

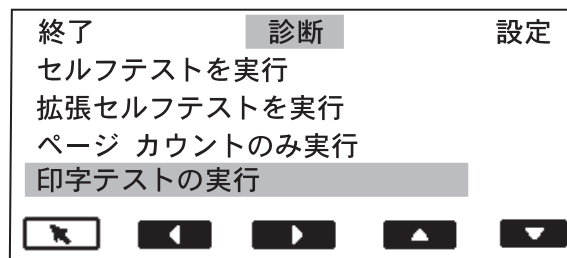
この例では、左向き矢印や右向き矢印により、[終了]、[診断]、[設定]の各種オプションを切り替えることができます。




上向き矢印と下向き矢印を使用して、メニューの選択肢を移動できます。

この例では、上向きの矢印と下向きの矢印を使用して、[セルフテスト]、[拡張セルフテスト]、[ページカウントのみ]、[印字テスト]、[パッチテスト]などのオプションを切り替えることができます。


注： 一度に4つのオプションを表示することができます。下向きの矢印を選択すると、さらにオプションを表示できます。

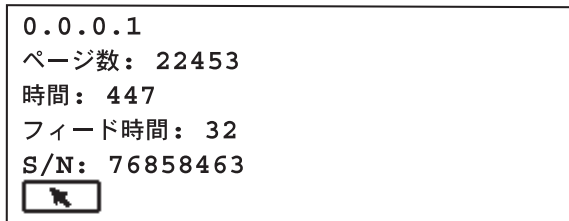


-  [リターン] 矢印により、選択した機能を実行します。上の例では、[印字テスト] を選択してから [リターン] 矢印を選択し、印字テストを実行しています。

情報にアクセスする


情報アイコンにより、最後のイメージアドレス、メーター値、スキャナーのシリアル番号などの情報を表示できます。

- このアイコン  を選択して、情報を表示します。




エレベータトレイを下げる

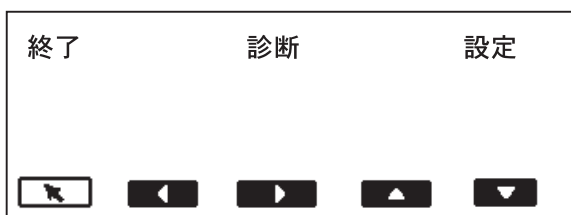
エレベータトレイの高さは、ドキュメントバッチの種々のサイズに合わせて設定できます。

- このアイコン  を選択して、エレベータトレイを最も下の位置まで下げます。

注： これにより、[設定]メニューで設定されたエレベータの位置の設定は一時的に無効になります。次回、ホストからスキャナーを使用可能にしたときに、メニューの設定が再開されます。

[診断設定]メニューの使用方法

[メニュー]アイコン  を使用して、[診断設定]メニューを表示します。




次の診断機能を利用することができます。

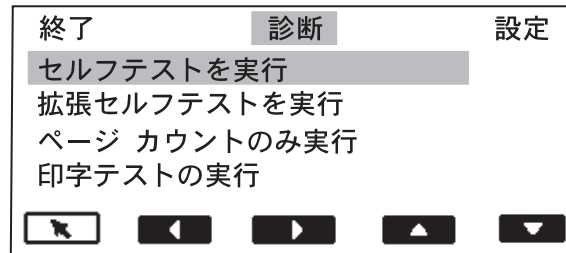
- セルフテストの実行
- 拡張セルフテストの実行
- カウント オンリー モードでの実行
- 印字テストの実行
- パッチ テストの実行

セルフテストまたは拡張 セルフテストの実行

スキャナーでセルフテストや拡張セルフテストを実行できます。セルフテストは、スキャナーの電源をオンにしたときに実行されるテストと同じです。拡張セルフテストでは、より厳密なテストを行います。

セルフテストまたは拡張セルフテストを実行するには、次の手順に従います。

1. [診断設定] メニュー アイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、診断機能に移動します。
3. 下向き矢印を使用して、[セルフテスト] または [拡張セルフテスト] を選択します。




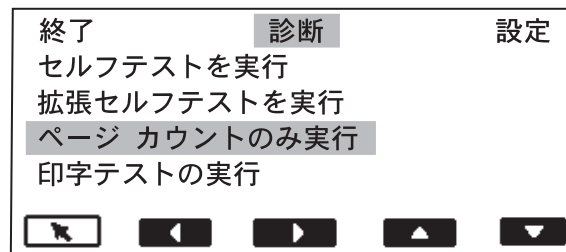
4. [リターン] を選択します。スキャナーでセルフテストが実行され、画面に結果が表示されます。

カウント オンリー モード の実行

実際にスキャンすることなく、スキャナーに入るドキュメントの枚数を数えたい場合に、この機能を利用します。

カウントオンリー モードで実行するには、次の手順に従います。

1. [診断設定] メニュー アイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、診断機能に移動します。
3. 下向き矢印を使用して、[ページ カウントのみ] を選択します。




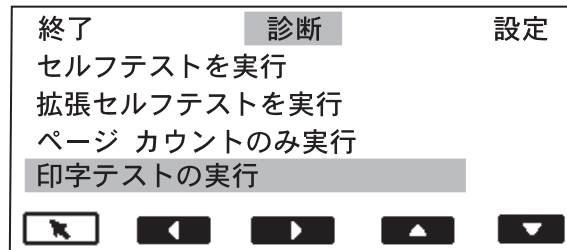
4. エレベータトレイにドキュメントをセットします。
5. [リターン] を選択します。「ページをカウント中」というメッセージが表示されます。
6. [開始/再開] を押します。 ページ枚数が表示されます。

印字テストの実行

印字テストを実行して、ドキュメント プリンタのインク ジェットが適切に機能していることを確認できます。

印字テストを実行するには、次の手順に従います。

1. [診断設定] メニュー アイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、診断機能に移動します。
3. 下向き矢印を使用して、[印字テスト] を選択します。




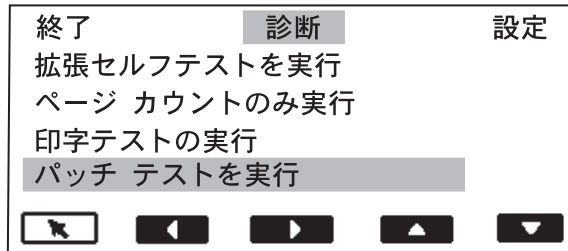
4. [リターン] を選択します。
5. 空の用紙をフィードします。
6. [開始/再開] を押します。
7. [停止/一時停止] を押します。アウトプット トレイのドキュメントに印字テストの結果が表示されます。
8. アウトプット トレイからドキュメントを取り出して、テスト パターンの外観を評価します。
 - パターンが完全である場合は、プリントを開始する準備が完了しています。
 - パターンがはっきりしない場合は、次の手順を実行します。
 - プリント カートリッジが正しく取り付けられていることを確認し、必要に応じて、インク カートリッジをパーズしてください。印字テストを繰り返します。詳細については、第 4 章「ドキュメント プリンタとパッチ リーダー」を参照してください。
 - それでもパターンがはっきりしない場合は、インク カートリッジを交換してください。

パッチ テストの実行



パッチ テストを実行して、パッチ リーダーが機能することと、パッチが仕様の範囲内にあることを確認できます。

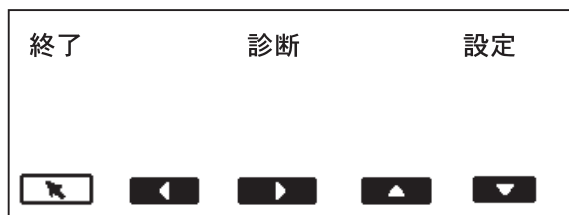
パッチ テストを実行するには、次の手順に従います。

1. [診断設定] メニュー アイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、診断機能に移動します。
3. オペレータ コントロール パネルに [パッチ テスト] が表示されるまで、下向きの矢印を押します。



4. [リターン] を選択します。
5. パッチ付きのドキュメントをフィードします。
6. [開始/再開] を押します。ドキュメントがスキャンされると、スキャナーによって認識されたドキュメントの枚数とパッチ タイプの数が表示されます。
7. [停止/一時停止] を押します。

[設定] メニューの使用方法 [メニュー] アイコン  を使用して、[診断設定] メニューを表示します。





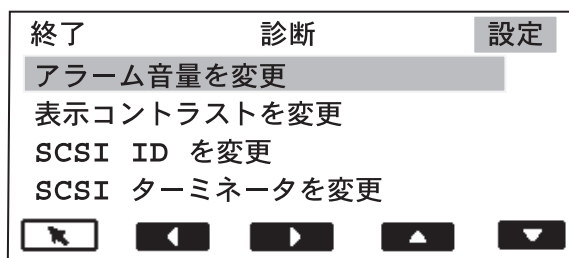
次の設定機能を利用することができます。

- アラーム音量の変更
- 表示コントラストの変更
- SCSI ID の変更
- SCSI ターミネータの変更
- エレベータ トレイ位置の設定

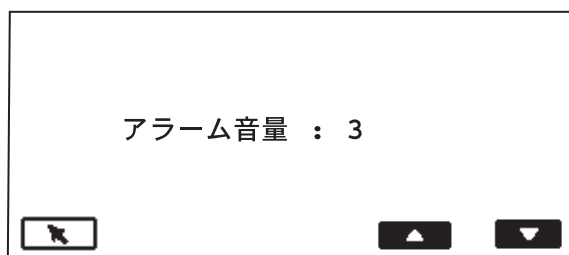
アラーム音量の変更

アラームの音量を 0~4 (1 = 最小、4 = 最大、0 = なし) の範囲で調整できます。
アラーム音量を設定するには、次の手順を実行します。

1. [診断設定] メニュー アイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、設定機能に移動します。
3. 下向き矢印を使用して、[アラーム音量を変更] を選択します。




4. [リターン] を選択します。

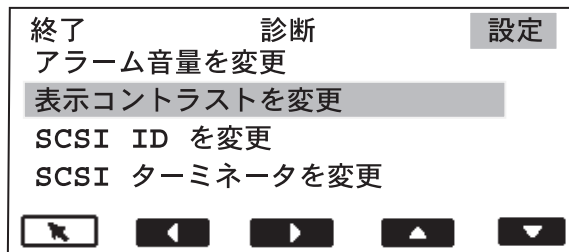


5. 上向き矢印または下向き矢印を使用して、必要なボリュームを選択します。
6. [リターン] を選択します。

表示コントラストの変更

表示のコントラストを 0～4 (0 = 明、4 = 暗) の範囲で調整できます。
表示コントラストを変更するには、次の手順に従います。

1. [診断設定] メニューアイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、設定機能に移動します。
3. 下向き矢印を使用して、[表示コントラストを変更] を選択します。



4. [リターン] を選択します。




5. 上向き矢印または下向き矢印を使用して、必要なコントラストを選択します。
6. [リターン] を選択します。

SCSI ID の変更

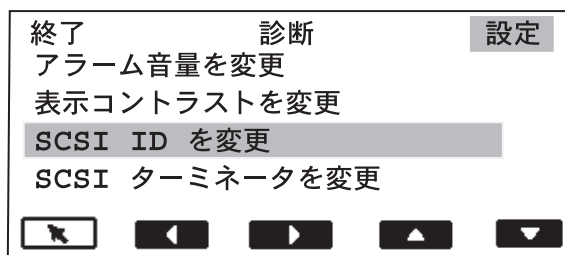
この設定を使用して、SCSI ID 番号 (0～7) を入力することができます。ユーザーのインテグレートやコダック フィールド サービス代理店からの指示がない限り、SCSI ID を変更する必要はありません。

SCSI ID を変更したら、スキャナーを再起動する必要があります。スキャナーの電源をオンにして、セルフテストが完了したら、ホスト PC を再起動してください。

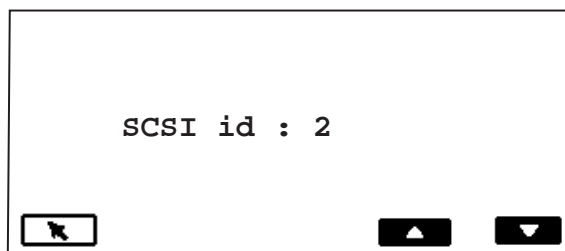
SCSI ID を変更するには、次の手順に従います。

1. [診断設定] メニューアイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、設定機能に移動します。

3. 下向き矢印を使用して、**[SCSI ID を変更]** を選択します。



4. **[リターン]** を選択します。



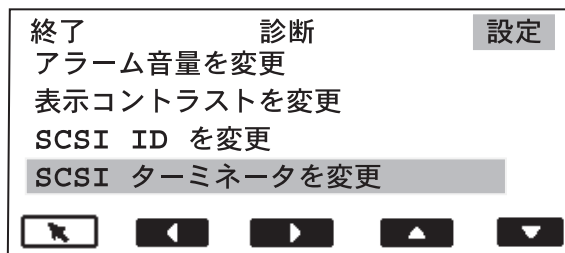
5. 上向き矢印または下向き矢印を使用して、必要な SCSI ID を選択します。
6. **[リターン]** を選択します。
7. スキャナーの電源をオフにします。少なくとも 10 秒間待機し、もう一度スキャナーの電源をオンにします。
8. スキャナーでセルフテストが完了したら、ホスト PC を再起動してください。

SCSI ターミネータの変更

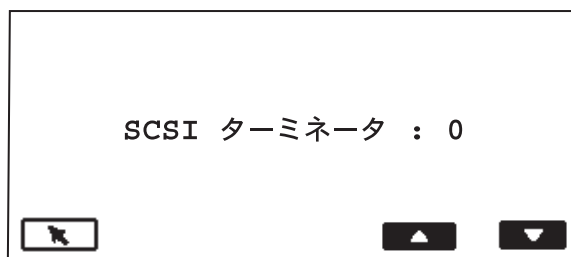
この設定により、SCSI ターミネータを変更することができます。値は、0 (無効) または 1 (有効) を指定できます。デフォルトでは、SCSI ターミネータは有効に設定されています。また、SCSI ターミネータは無効にしてスキャナーを再起動するまで、ターミネータは有効なままです。ユーザーのインテグレータやサービス代理店からの指示がない限り、SCSI ターミネータを変更する必要はありません。

SCSI ターミネータを変更するには、次の手順に従います。

1. **[診断設定]** メニューアイコン  を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、設定機能に移動します。
3. 下向き矢印を使用して、**[SCSI ターミネータを変更]** を選択します。




4. [リターン] を選択します。




5. 上向き矢印または下向き矢印を使用して、必要な SCSI ターミネータの設定を選択します。
6. [リターン] を選択します。
7. スキャナーの電源をオフにします。少なくとも 10 秒間待機し、もう一度スキャナーの電源をオンにします。新しいターミネータの設定が有効になります。

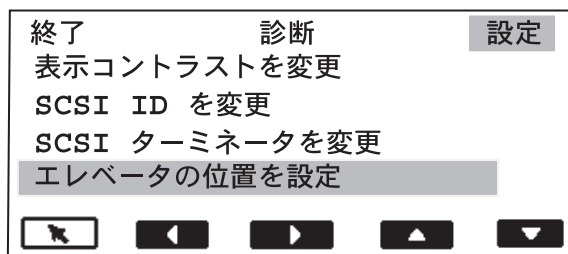
エレベータトレイの位置の設定

この設定により、エレベータトレイの位置を変更することができます。エレベータ位置を設定して、25、250、500、750、あるいは 1000 枚のドキュメント (20 lb ボンド ペーパー) を使用できるように設定できます。[エレベータ無効] アイコン () が選択されない限り、選択したとおりの位置が維持されます。

注： 設定の [25] は、手動フィードまたは連続フィード操作で使用する必要があります。

エレベータトレイの位置を設定するには、次の手順を実行します。

1. [診断設定] メニューアイコン () を選択します。
2. 右向き矢印または左向き矢印を使用して、設定機能に移動します。
3. オペレータコントロールパネルに [エレベータ位置を設定] が表示されるまで、下向きの矢印を押します。



4. [リターン] を選択します。



5. 下向き矢印を使用して、必要なエレベータの位置を選択します。
6. [リターン] を選択します。新しいエレベータ位置は、スキャナーが使用可能になった後に有効になります。

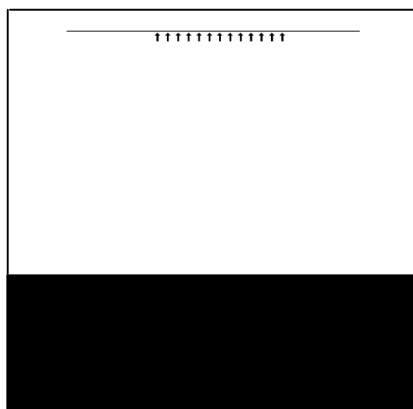
スキャナーのキャリブレーション

キャリブレーションによりスキャナーを最適化し、最適なイメージ品質とフィーディング性能を実現することができます。スキャナーは、使用不可に設定されているときのみ、キャリブレーションを行うことができます。


以下の状況では、キャリブレーションを行う必要があります。

- キャリブレーションが必要なことを示すメッセージが表示されたとき
- イメージ品質が低下しているとき
- ペーパーハンドリング性能が低下しているとき (重送の発生など)。
- スキャナーを清掃した後

スキャナーに付属のキャリブレーション ターゲットを使用します (下を参照)。良好で清潔なキャリブレーションターゲットを使用してください。追加のキャリブレーションターゲットを注文することもできます。詳細については、第5章「メンテナンス」の「消耗品の注文」参照してください。



スキャナーのキャリブレーションを行うには、次の手順を実行します。

1. [キャリブレーション] アイコン  を選択します。
2. キャリブレーションターゲットを上向きにし、矢印を先に向けて、エレベータトレイにドキュメントをセットします。
3. [開始/再開] を押します。
4. キャリブレーションターゲットを下向きにし、矢印を先に向けて、エレベータトレイにドキュメントをセットします。
5. [開始/再開] を押します。キャリブレーションの結果が表示されます。

搬送部のジョギング

[ジョグ] ボタンを使用して、一時的 (4 秒間) の搬送部をオンにし、詰まったドキュメントを取り除きやすいようにすることができます。この機能は、スキャナーが使用不可に設定されているときのみ利用することができます。ジョグ ボタンは、ドキュメントの簡単な詰まりを取り除くために使用できます。ドキュメントがスキャナー内の複数の場所に詰まっている場合は、第 6 章「トラブルシューティング/メッセージ」の手順に従ってください。

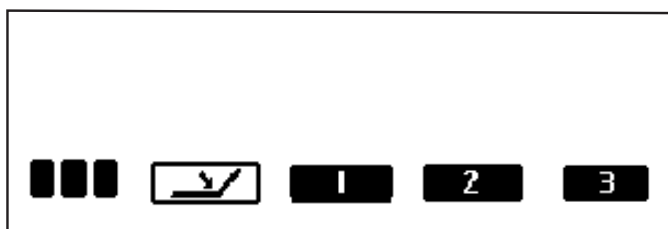
ドキュメントの詰まりが発生した場合は、次の手順を実行します。

- [ジョグ] アイコン  を選択します。

プログラマブル キーの 割り当て

オペレータ コントロール パネルには、3 つのプログラマブル キーがあります。これらのキーには、ホストのアプリケーションを使用して、機能を割り当てることができます。

プログラマブル キーは、スキャナーが使用可能なときに利用できます。コントロール パネルには、1~3 の番号が表示されます。これらの番号は、コントロール パネルのボタンに対応しています。



各プログラマブル キーには、次の機能を割り当てることができます。

- スキャナー機能なし (デフォルト)
- スキャナー ジョブの終了
- バッチの終了
- 重送検知機能の省略
- プリントの省略
- パッチ認識の省略

どの機能をプログラムするかについては、システム管理者に問い合わせてください。

4 ドキュメント プリンタとパッチ リーダー

この章では、コダック イメージリンク ドキュメント プリンタ 1 とパッチ リーダーの使用方法について説明します。この章では、以下の情報を説明します。

- インク カートリッジのページ
- インク カートリッジの交換
- インク吸い取りストリップの交換
- プリンタの位置の設定
- パッチ リーダーがサポートしているパッチの種類
- パッチ リーダーの位置の設定

ドキュメント プリンタ

ドキュメント プリンタ 1 では標準のインク カートリッジを使用しており、パッチ処理やタイムスタンプなどスキャンしたドキュメントに情報を適用したり、ドキュメント管理システムを活用する場合に安価で効率的です。

ドキュメント プリンタ 1 ではプリント機能がプログラム化され、ホストによる定義どおりに英数字をサポートできます。日付、イメージアドレス、時刻、書類枚数、およびカスタム メッセージを使用できます。印字情報はすべてドキュメントのヘッダ レコードに取り込まれます。プリンタのすべての制御や機能へのアクセスには ISIS ドライバおよび TWAIN ドライバを使用しています。

印字する情報

ドキュメント プリンタによって印字する情報は、ユーザのシステム管理者または統括者によってアプリケーションのセットアップ中に定義されます。

以下の項目を印字できますが、40 文字 (半角) を超えることはできません。

- ドキュメントのイメージアドレス (4 つのイメージアドレス フィールドのうち任意のものを任意の順序で印字できます)
- 日付
- 時刻
- 書類枚数
- メッセージ - 6 つのフィールドを定義して印字ストリングを作成できます。

ドキュメント プリンタは、ドキュメントあたり 1 行印字できます。

ドキュメント プリンタで印字される情報は表示のとおり、ドキュメントの先のエッジに対し垂直に 1 列で印字されます。

印字の結果



フォント サイズ: 「大」と「小」の 2 つの文字サイズを使用できます。ドキュメントに印字される文字は、アプリケーションのセットアップによって異なります。

文字の方向: 情報は、Cine または Comic のいずれかの方向で各ドキュメントに印字されます。

C
I
N
E

**Cine
の方向**

COMIC

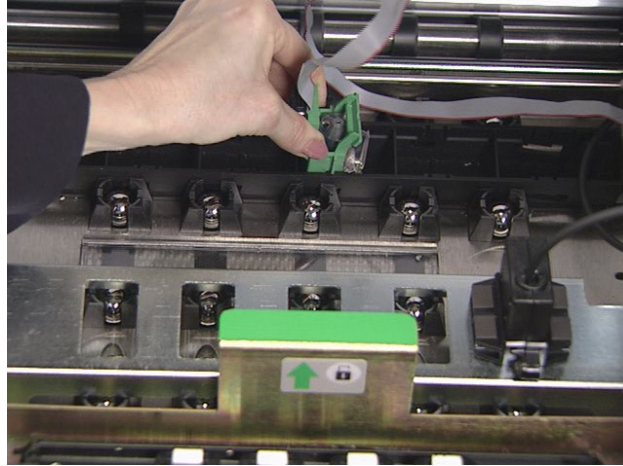
**Comic
の方向**

水平方向の印字位置

水平方向の印字位置は、ドキュメントプリンタにある 13 の位置のいずれかを設定します。印字位置は、必要に応じて、手動で変更することができます。

印字位置を変更するには、次の手順に従います。

1. スイング ドアを開きます。
2. 緑色のインク カートリッジをスライドさせてスロットから取り外します。



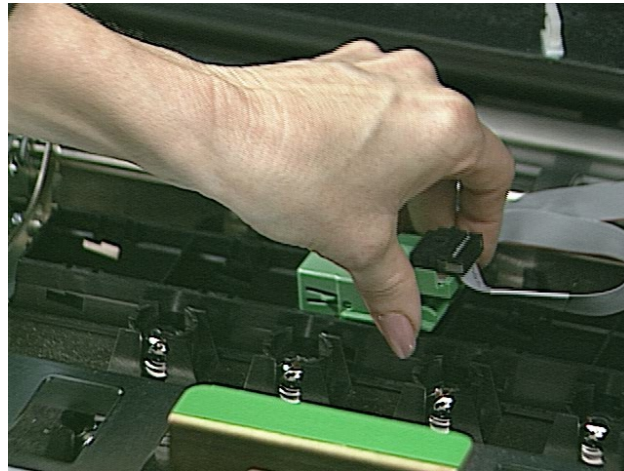
3. インク カートリッジを必要な位置に移動し、適切なスロットに挿入します。
4. スイング ドアを閉じます。

注： 情報がすべて印字されていない場合、印字はドキュメントの後ろのエッジから 1.27 cm (0.5 インチ) のところで自動的に停止します。

インク カートリッジのパージ 追加のインクカートリッジは、お近くの事務用品店から購入することができます。

注意：

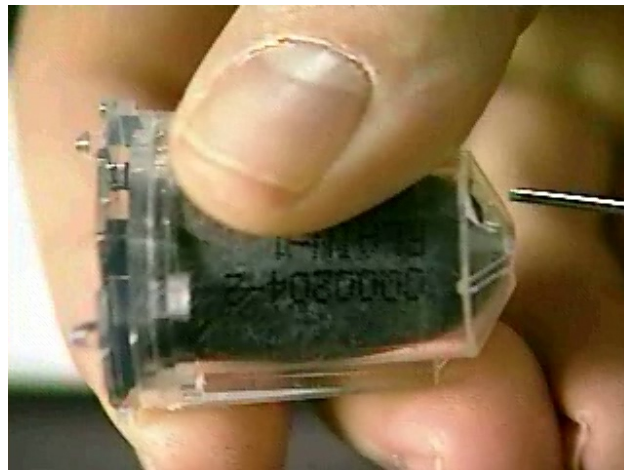
- ドキュメント プリンタをしばらくの間 (24 時間以上) 使用しない場合は、キャリアからドキュメント プリンタを取り外し、次回使用する用意が完了するまで横に置いて保管してください。



- インク カートリッジは、自治体の規則に従って廃棄することができます。

インク カートリッジは、使用の前にパージする必要があります。また、プリント品質が不適切なときにも、パージする必要があります。次の手順に従って、インク カートリッジをパージしてください。

- 箱からインク カートリッジを取り出し、インナー ラップを剥がします。
- カートリッジを保持し、まっすぐに伸ばしたクリップをインク カートリッジの上面の大きな穴に差し込みます。



- インク カートリッジの下部が上を向くように、インク カートリッジを反転させます。

4. インクカートリッジのインクフローポイントにインクの小さなビードが現れるまで、インクブラダーの側面に向けてクリップをゆっくり押し込みます。

注意: クリップでインクブラダーを破損しないように注意してください。

5. クリップを抜き取ります。
6. インクビードがインクカートリッジに吸収されて戻るまで放置します。



7. 余分なインクは、ティッシュペーパーに吸わせて取り除きます。

注意: インクの流れが悪くなる可能性があるため、インクフローポイントには触れないでください。

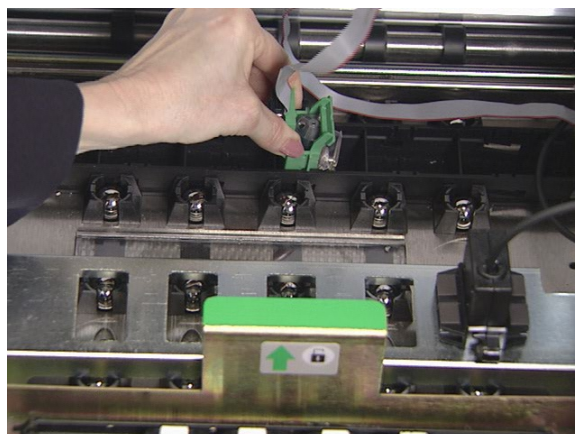
インクカートリッジの交換

次のいずれかの条件が発生した場合は、インクカートリッジを交換してください。

- インクブラダーが縮んだり、しぼんだりした場合
- プリントされた文字が薄かったり、不均一な場合
- 文字が欠落している場合
- プリントテスト機能を利用してテストしたとき、文字品質がばらついている場合
- クリーニング手順を実施しても、全体的なプリント品質が向上しなかった場合

インクカートリッジを交換するには、次の手順を実行します。

1. スイングドアを開きます。
2. 緑色のインクカートリッジをスライドさせてスロットから取り外します。



3. ロッキングバーが上がった状態ではない場合は、ロッキングバーを上げて空のインクカートリッジを取り外します。



4. 新品のページ済みインクカートリッジを挿入します。
5. インクカートリッジの周囲のロッキングバーを下げます。
6. 緑色のインクカートリッジをスライドさせてスロットに戻します。
7. スイングドアを閉じます。

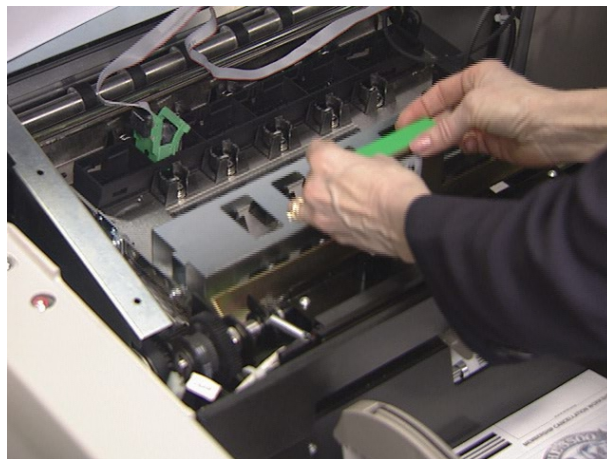
重要:

- インクカートリッジは、適切に廃棄してください。インクカートリッジは焼却しないでください。
- プリンタのケーブルは、必ず白のクリップで固定し、ケーブルがイメージングの経路に干渉しないようにしてください。

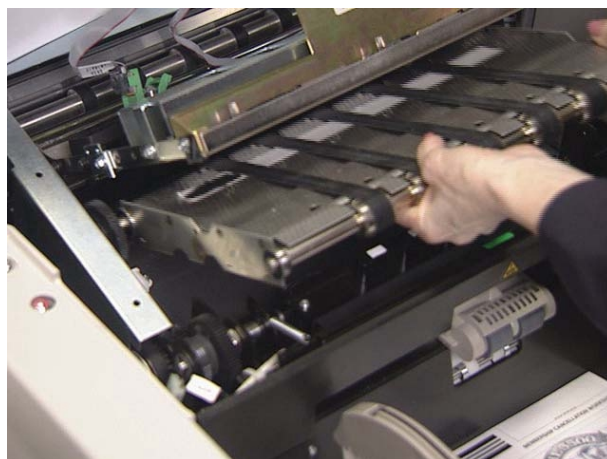
インク吸い取りストリップの交換

インク吸い取りストリップは、オーバーフローしたインクを吸収します。ストリップは、インクが溜まったときに交換する必要があります。交換用の吸い取りストリップは、コダックの販売店を通じて購入できます。購入可能な消耗品のリストについては、第5章「メンテナンス」を参照してください。インク吸い取りストリップを交換するには、次の手順に従います。

1. スイングドアを開きます。
2. 水平搬送プレートを持ち上げます。

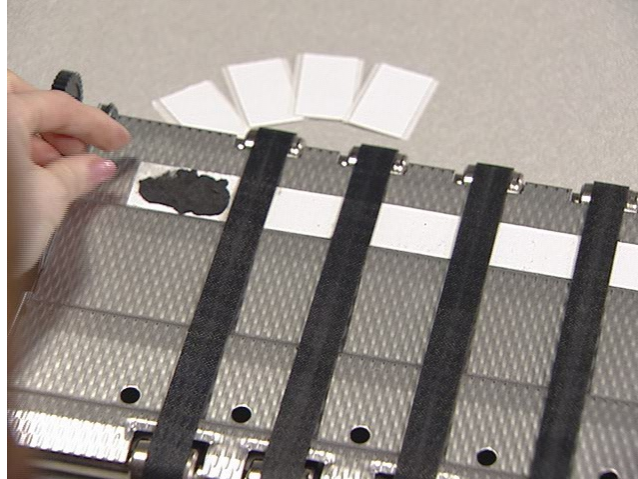


3. 水平ベルトモジュールを取り外します。

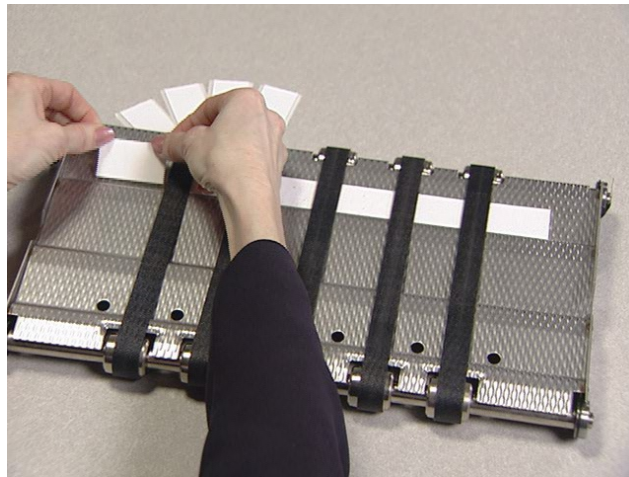


4. 吸い取りストリップを確認します。必要に応じて、1つまたは複数、あるいはすべてのストリップを交換できます。

5. 吸い取りストリップをつかみ、搬送部から慎重に引き出します。汚れているストリップは廃棄します。



6. 新品の吸い取りストリップを取り付けます。吸い取りストリップは、搬送チャンネルと位置を合わせてから、接着側をチャンネルに押し込んでください。

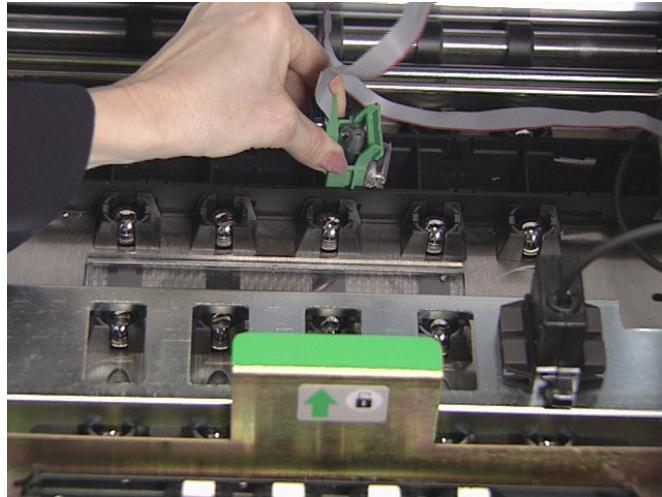


7. 水平ベルト モジュールを取り付けます。
8. 水平搬送プレートを下げます。
9. スイング ドアを閉じます。

プリンタの位置の設定

プリンタには、13の可能な位置があります。プリンタが、印字するドキュメントに適した正しい位置にあることを確認します。

1. スイング ドアを開きます。
2. プリンタ ポジショニング スロットを確認します。
3. プリントのニーズに適した位置を決定します。
4. 緑色のインク カートリッジをスライドさせてスロットから取り外します。



5. 緑色のインク カートリッジをスライドさせて必要なスロットの中に入れます。

重要: プリンタのケーブルは、必ず白のクリップで固定し、ケーブルがイメージングの経路に干渉しないようにしてください。

6. スイング ドアを閉じます。

パッチリーダー

パッチリーダーを使用すると、自動的にイメージアドレスを増やしたり、特別な機能を実行したりできます。パッチシートは、ドキュメントの準備中は各ドキュメントの前に、その他の場合はドキュメントのリードシート上に配置されます。

パッチヘッドの位置は5つあります。パッチヘッドの位置は容易に変更することができます。パッチタイプを認識すると、イメージヘッドに戻されます。これは、ドキュメントレベルの情報とは別です。

詳細については、コダックの文書 A-61599 の「パッチコードの情報」を参照してください。

パッチタイプ

パッチタイプ 1、4、および 6 — これらのパッチタイプは、スキャン後のイメージコントロールの場合にホストによって使用されます (イメージアドレスの作成には使用しません)。たとえば、白黒イメージとカラーイメージの変更やワークフローのコントロールにこれらのパッチタイプを使用します。

重要: 以下のパッチは商業用ではないため、製品の製造には使用しないでください。

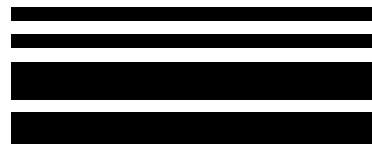
パッチ 1



パッチ 1



パッチ 1



トグルパッチ — トグルパッチは、スキャナを現在のイメージストリーム (白黒) から別のイメージストリーム (カラー) に切り替えるためのトリガーとして使用されるタイプ 4 パッチです。

トグルパッチ



パッチタイプ 2、3、および T— これらのパッチタイプは、イメージアドレスの作成に使用します。パッチリーダーによってパッチが認識されると、自動的に新しいイメージアドレスが新規ドキュメントに割り当てられます。これにより、電子的なイメージを表示し、あるドキュメントを終了して次のドキュメントを開始する場所を判断するタスクを省くことができます。パッチリーダーではドキュメントが階層構造になっており、自動パッチ処理機能を使用できません。

パッチリーダーは、自動的に事前に定義されたパッチコードを認識し、それに応じてドキュメントレベルを変更することによってドキュメントレベルの変化を制御します。

重要: 以下のパッチは商業用ではないため、製品の製造には使用しないでください。

パッチ 2 - レベル 2 を現在のドキュメントに割り当てます。



パッチ 3 - レベル 3 を現在のドキュメントに割り当てます。



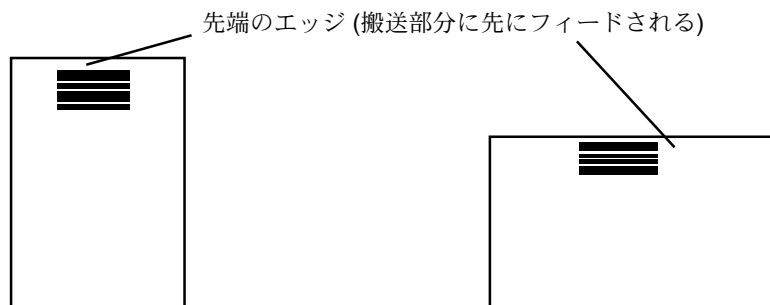
パッチ T/T パッチ - 事前定義されたレベルを次のドキュメントに割り当てます。



Tパッチの定義はアプリケーションでも実行できます。Tパッチを定義しておく、Tパッチを使用する場合に次のドキュメントに割り当てられたレベルを制御できます。たとえば、Tパッチの定義が現在レベル 3 に設定されている場合、Tパッチを使用すると、次のドキュメントはレベル 3 に割り当てられます。

パッチコードの配置

パッチはドキュメントの先端のエッジに対して平行に表示される必要があります。



パッチリーダーの位置の設定 パッチの読み取りには、5種類のパッチ位置を利用できます。

1. エレベータトレイにドキュメントをセットします。
2. スイングドアを開きます。
3. パッチヘッドとドキュメントのパッチの位置を合わせます。



4. スイングドアを閉じます。

注：ドキュメントのパッチの位置が変わった場合は、上記の手順を繰り返して、パッチヘッドを新しい位置に合わせてください。

5 メンテナンス

この章では、スキャナーのクリーニングと交換手順について説明します。スキャナーでの最適な性能を実現するために、特に指定がない限り、この章で説明している部分を 8 時間勤務ごとにクリーニングしてください。

追加のメンテナンス用品は、DI Supply またはコダック販売店に連絡して注文することができます。入手できる予備品のリストについては、この章の後半の「予備品の注文」の節を参照してください。

重要: すべてのクリーニング用予備品は、特に指定されていない限り、通常の廃棄物管理方式に従って廃棄できます。

スキャナーのコンポーネントにアクセスする場合は、緑色のハンドルを使用してください。

ペーパーパスの クリーニング

ペーパーパスは、ペーパーパス クリーナーを搬送部に数回通してクリーニングする必要があります。ペーパーパスをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. ペーパーパス クリーナーの包装を取り除きます。
2. フィーダ ガイドを最も広い位置まで調整します。
3. スキャナーをカウントオンリー モードで操作します。手順については、第 3 章「オペレータ コントロール パネルの機能」を参照してください。



4. クリーニング シートを横向きにし (接着剤側を上にして)、搬送部に数回フィードします。
5. クリーニング シートを横向きにし (接着剤側を下にして)、搬送部に数回フィードします。

注： クリーニング シートが汚れたら廃棄して、新品のクリーニング シートを使用してください。

搬送部の上側の クリーニング

搬送部の上側の部分をクリーニングするには、次の手順に従います。

1. トップカバーを開きます。



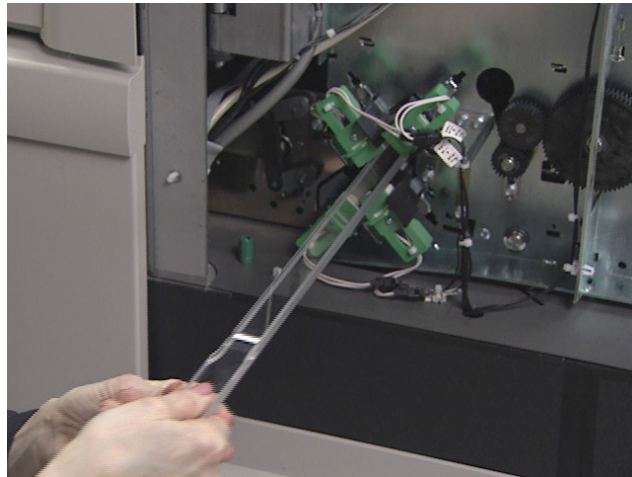
2. 折りたたみドアを開きます。



3. ローイメージガイドの端をつかみ、まっすぐに引き出します。



4. ローイメージガイドを清潔な面に置いて保管します。
5. アッパーイメージガイドの端をつかみ、まっすぐに引き出します。



6. アッパー イメージ ガイドを清潔な面に置いて保管します。

注： クリーニングの過程でイメージガイドに異物が付着しないようにするために、イメージガイドはスキャナーのクリーニングが完全に終わってから取り付けてください。

7. トップ ターン バッフルを解放します。



8. この部分を掃除機でクリーニングします。

9. トップ ターン バッフルを閉じます。

10. 出口搬送プレートを持ち上げて保持し、掃除機でクリーニングします。



11. 出口搬送プレートを下げます。

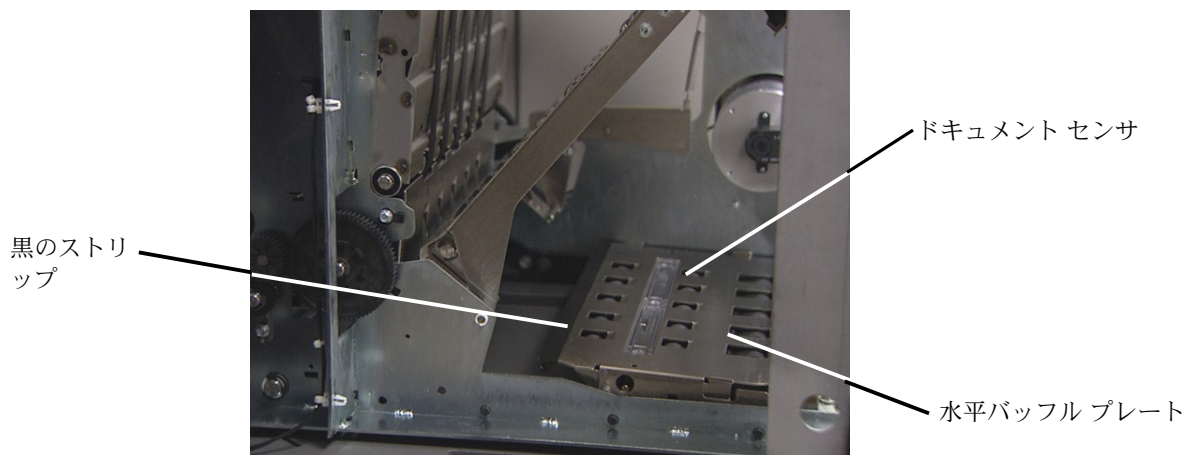
垂直転送部分の クリーニング

垂直転送部分をクリーニングするには、次の手順に従います。

1. 垂直転送プレートをつかみ、停止するまで引き下げます。



2. 水平バツフル プレートをスライドさせ、ハウジングの内側を掃除機でクリーニングします。



3. ドキュメント センサと水平バツフル プレートの黒のストリップを柔らかい布で拭いてクリーニングします。

重要: 掃除機でスキャナーをクリーニングするときは、センサ類に傷を付けないように注意してください。

4. 各ドキュメント センサをクリーニングします。
5. 水平バツフル プレートを後ろ側にスライドさせます。

6. 下側の搬送部の床を掃除機でクリーニングします。



7. 垂直転送プレートを持ち上げて、元の位置に戻します。
8. 垂直転送プレートのハンドルを回して、ラッチをかけて固定します。
9. 折りたたみドアを閉じます。
10. トップカバーを閉じます。

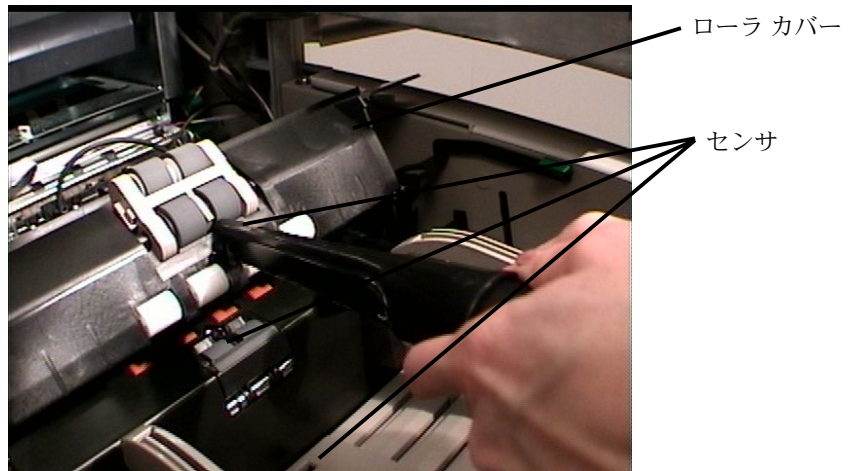
搬送部のクリーニング

搬送部をクリーニングするには、次の手順に従います。

1. スイングドアを開きます。

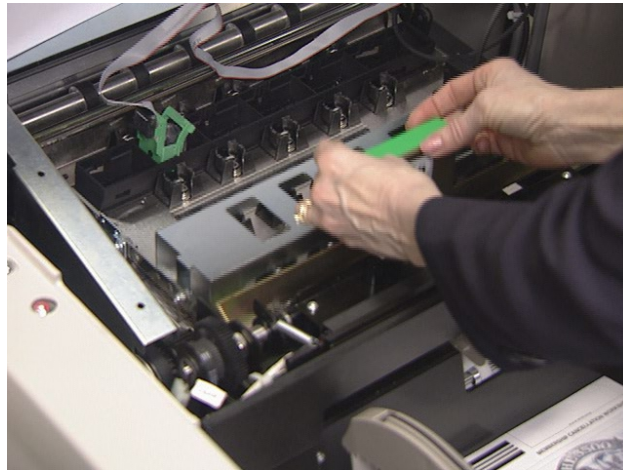


- ローラ カバーを上げて、センサ類を掃除機でクリーニングします。

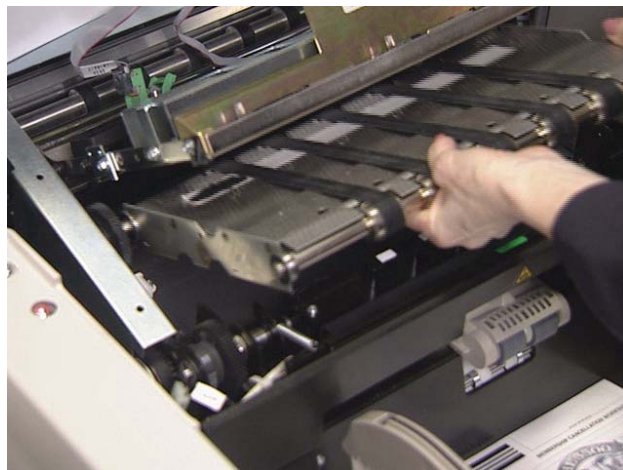


重要: 掃除機でスキャナーをクリーニングするときは、センサ類に傷を付けないように注意してください。

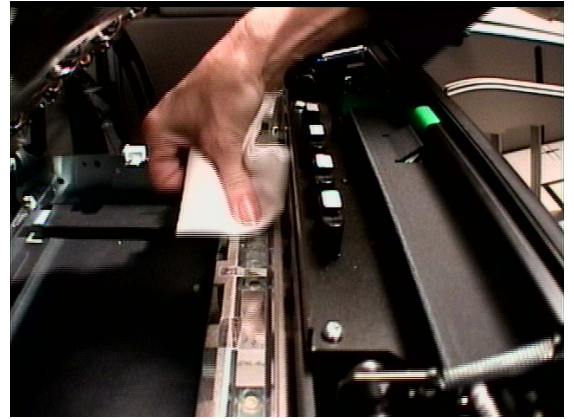
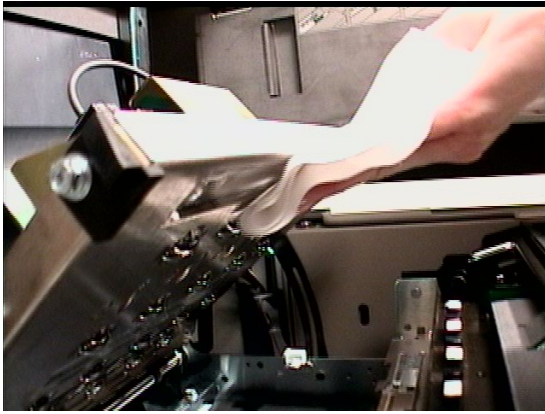
- ローラ カバーを閉じます。
- 水平搬送プレートを持ち上げます。



- 水平ベルト モジュールを取り外します。



6. 水平搬送部の床を掃除機でクリーニングします。
7. ほこりのでない布で上下のセンサ類を拭いてクリーニングします。

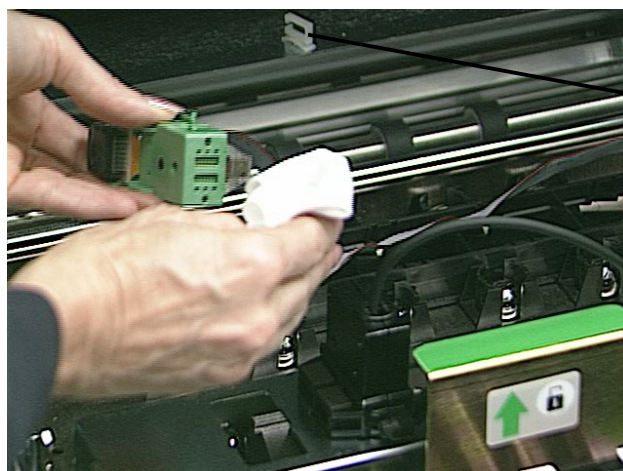


8. 水平ベルト モジュールを取り付けます。
9. 水平搬送プレートを下げます。

プリンタヘッドとパッチヘッドのクリーニング

ドキュメントプリンタ1とパッチリーダーヘッドのクリーニングするには、次の手順に従います。ドキュメントプリンタ1とパッチリーダーをクリーニングする手順については、第4章を参照してください。

1. ドキュメントプリンタヘッドを取り外し、乾燥したほこりのでない布でクリーニングします。



2. ドキュメントプリンタヘッドを必要な位置に取り付けます。

重要: プリンタのケーブルは、必ず白のクリップで固定し、ケーブルがイメージングの経路と干渉しないようにしてください。

3. パッチヘッドを取り外し、乾燥したほこりのでない布でクリーニングします。



4. パッチヘッドを必要な位置に取り付けます。
5. スイングドアを閉じます。

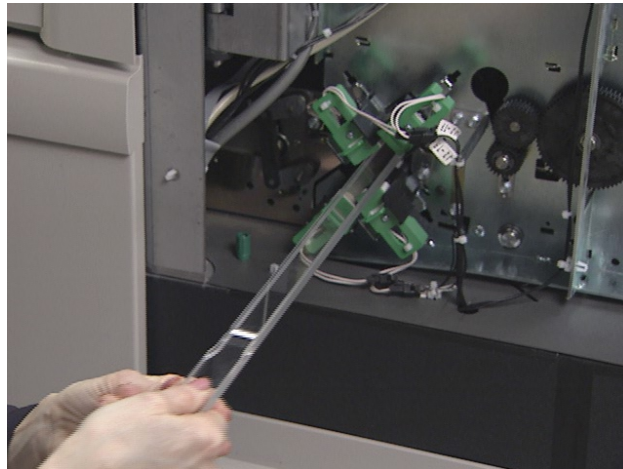
イメージガイドの クリーニング

クリーニング中、イメージガイドに指紋などの汚れがつかないようにしてください。

1. 折りたたみドアを開きます。
2. 前の手順で取り外していたアッパー イメージガイドを用意します。水で少し湿らせた、清潔な軟性のほこりがでない布を使用して、アッパー イメージガイドをクリーニングします。Staticide ワイパーでガイドの両側を軽く拭きます。



3. アッパー イメージガイドを取り付けます。切り込みの入った側を上に向けて、イメージガイドをいっぱいまで押し込み、スロットに完全に密着させます。



4. 前の手順で取り外していたローア イメージガイドを用意します。水で少し湿らせた、清潔な軟性のほこりがでない布を使用して、ローア イメージガイドをクリーニングします。Staticide ワイパーでガイドの両側を軽く拭きます。
5. ローア イメージガイドを取り付けます。切り込みの入った側を下に向けて、イメージガイドをいっぱいまで押し込み、スロットに完全に密着させます。
6. 折りたたみドアを閉じます。

メンテナンスおよび 交換手順

この節では、以下の部品を交換するときの手順を説明します。交換の頻度の指針として、下に示すリストを使用してください。

- **フィード モジュールのタイヤとセパレーション ローラ** - タイヤの寿命は、用紙の種類、環境、清潔性などに応じて異なります。公称のタイヤ寿命は、約 250,000 枚ですが、条件によって異なります。フィーダ性能の悪化、重送、停止などが発生した場合は、タイヤを交換する必要があります。フィード モジュールとセパレーション ローラのタイヤを交換する場合は、一度にすべてのタイヤを交換してください。
- **フィード モジュール セパレーション ローラ** - タイヤ交換の 5 回目ごとに新品のフィード モジュールに交換することをお勧めします。詳細については、補給品キットに含まれるチェックリストを参照してください。フィード モジュールとセパレーション ローラは同時に交換します。
- **プリセパレーション パッド** - フィード モジュールとセパレーション ローラのタイヤを交換するたびにプリセパレーション パッドを交換します。
- **露出ランプ** - 操作時間 500 時間ごとまたは必要に応じて (例、スキャナーにメッセージが表示されたり、継続してイメージ キャリブレーションに失敗するなど)、4 本のランプすべてを交換することをお勧めします。
- **イメージ ガイド** - イメージが擦れたり、非常に品質が悪い場合に交換してください。

この節では、次の部品の交換手順を説明します。

- **自動センタリング サイド ガイドのギア** - アウトプット トレーには、スペーサが取り付けられていて、これにより、サイド ガイドは独立して動くことができます。サイド ガイドを一緒に動かしたい場合 (自動センタリング)、スキャナーに付属のギア付きスペーサを取り付けます。
- **サイド ガイド** - スキャナーでは短めのサイド ガイドを標準で使用します。また、長めのサイド ガイドもスキャナーには用意されていて、用途に応じて使用することができます。

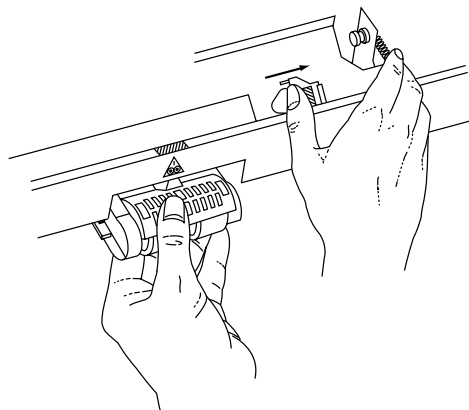
フィード モジュールと フィード モジュール タイヤの交換

この節では、フィード モジュールとフィード モジュール タイヤの交換手順について説明します。

フィード モジュールの交換

フィード モジュールを交換するには、次の手順に従います。

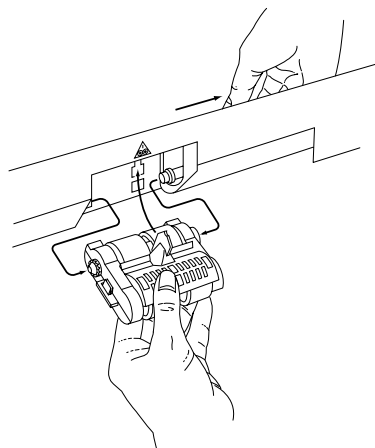
1. スイング ドアを開きます。
2. リリース レバーを右に押し、フィード モジュールを解放します。



3. フィード モジュールを取り外します。

新しいフィード モジュールを取り付けるには、次の手順に従います。

4. リリース レバーを右に押し、ピンの位置を合わせて固定し、新品のフィード モジュールを取り付けます。フィード モジュールを取り付ける場合は、レバーを解放して、フィード モジュールがしっかりと固定されていることを確認してください。

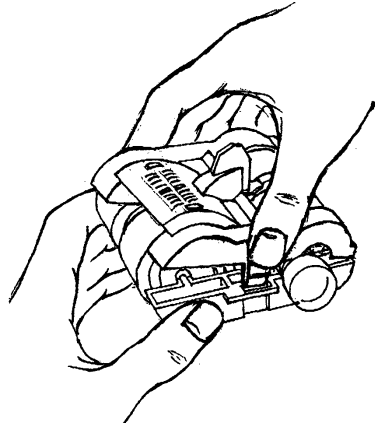


5. スイング ドアを閉じます。

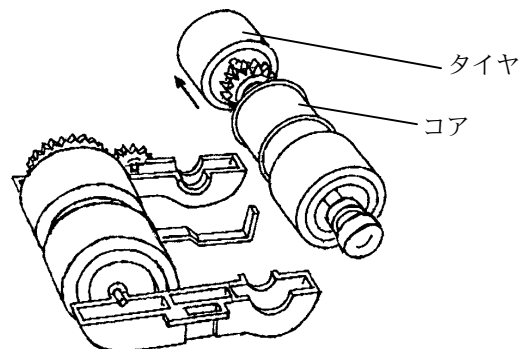
フィード モジュール タイヤの交換

フィード モジュール タイヤを交換するには、次の手順に従います。

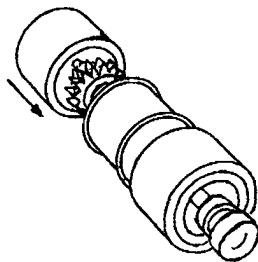
1. スイング ドアを開きます。
2. フィード モジュールを取り外します。
3. 片方の手でロックング タブ (両側に 1 個ずつあります) を押しながら、もう一方の手でボトムハウジングを保持し、アッパーハウジングを上引き上げて、ローラから外します。



4. コアアセンブリを 1 個取り外します。
5. 各タイヤをスライドさせて、コアから取り外します。

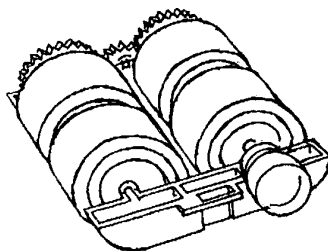


6. 新しいタイヤをゆっくり引き伸ばして、コアに取り付けます。

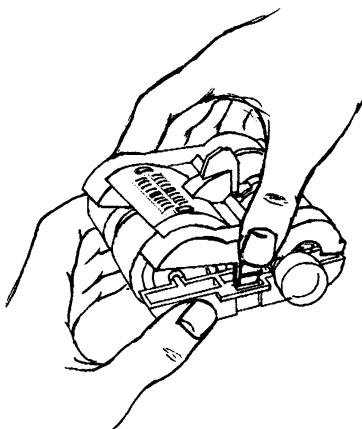


重要: タイヤが裂ける可能性があるので、タイヤを引き伸ばしすぎないように注意してください。

7. フィード モジュールにコア アセンブリを取り付けます。



8. 手順 4~7 を繰り返して、別のコア アセンブリのタイヤを交換します。
9. アッパーハウジングのタブとローアハウジングのスロットの位置を合わせます。



10. アッパーハウジングとローアハウジングを共に押し込んで固定します。
11. ピンの位置を合わせてフィードモジュールを取付位置に挿入します。しっかりと固定されていることを確認します。
12. スイングドアを閉じます。

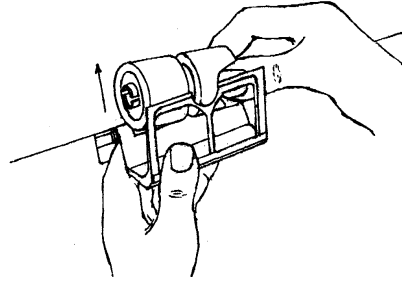
セパレーション ローラとタイヤ

この節では、セパレーション ローラとタイヤを交換する手順を説明します。

セパレーション ローラの交換

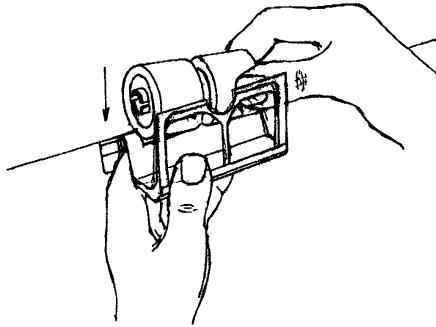
セパレーション ローラを交換するには、次の手順に従います。

1. スイング ドアを開きます。
2. ローラ カバーを持ち上げます。
3. セパレーション パッド ホルダーを手前に引き、セパレーション ローラを取り外します。



次の手順に従って、新品のセパレーション ローラを取り付けます。

4. セパレーション パッド ホルダーを手前に引き、新品のセパレーション ローラを取り付けます。



注： セパレーション ローラのスロットとホルダーが一行に並んでいることを確認してください。

5. セパレーション ローラ ホルダーを押し込んで戻します。
6. ローラ カバーを下げます。
7. スイング ドアを閉じます。

セパレーション ローラ タイヤの交換

セパレーション ローラ タイヤを交換するには、次の手順に従います。

1. 前述の手順に従って、セパレーション ローラを取り外します。
2. 各タイヤをスライドさせて、コアから取り外します。
3. 新しいタイヤをゆっくり引き伸ばして、コアに取り付けます。

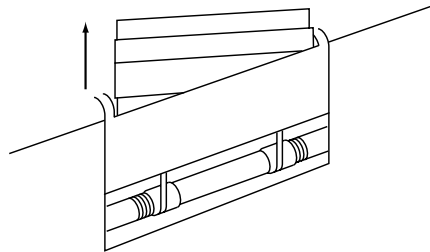
重要: タイヤが裂ける可能性があるため、タイヤを引き伸ばしすぎないように注意してください。

4. 前述の手順に従って、セパレーション ローラを取り付けます。

セパレーション パッドの交換

ドキュメントの重送の頻度が増えた場合は、プリセパレーション パッドを交換してください。

1. スイング ドアを開きます。
2. ローラ カバーを持ち上げます。
3. プリセパレーション パッドを取り外します。



4. 新品のプリセパレーション パッドを取り付けます。パッドが定位置に取り付いたことを確認します。
5. ローラ カバーを下げます。
6. スイング ドアを閉じます。

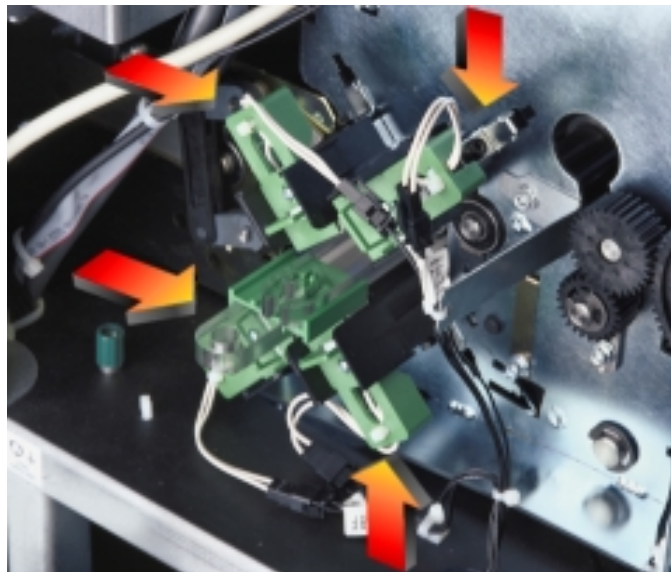
フィード モジュール タイヤ とセパレーション ローラ タイヤのクリーニング

以下に示すクリーニング手順は、毎日実施する必要があります。処理枚数とドキュメントの種類によっては、クリーニングをより頻繁に実施する必要があります。フィード モジュール タイヤとセパレーション ローラ タイヤを毎日クリーニングすることで、インク、トナー、ほこり、および用紙の汚染物がローラに堆積するのが防止され、フィード時にドキュメントが分離されやすくなります。

1. スイング ドアを開きます。
2. フィード モジュールを取り外します。
3. ローラ カバーを持ち上げます。
4. フィード モジュールとセパレーション ローラを取り外します。
5. フィード モジュール タイヤとセパレーション ローラ タイヤを回転させ、Emulsiclean ワイパーで拭き取ってクリーニングします。タイヤからすべての堆積物が除去されるまで、クリーニングを行います。
6. 乾燥したほこりのでない布でタイヤを拭き、乾燥させます。
7. セパレーション ローラを取り付けます。
8. ローラ カバーを下げます。
9. フィード モジュールを取り付けます。
10. スイング ドアを閉じます。

ランプの交換

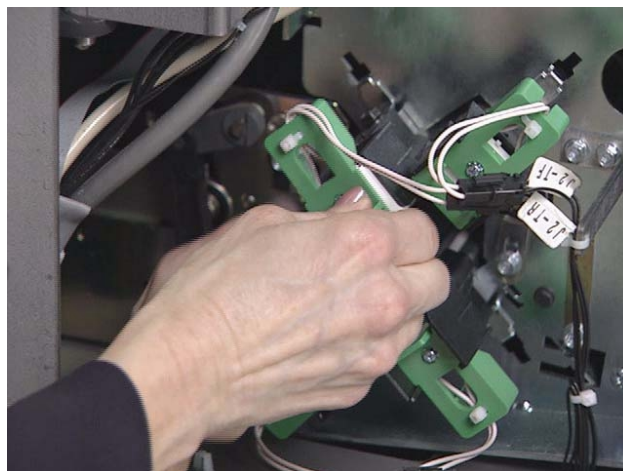
スキャナーには、同じ種類の 4 個のランプが使用されています。同じ手順ですべてのランプを交換できます。



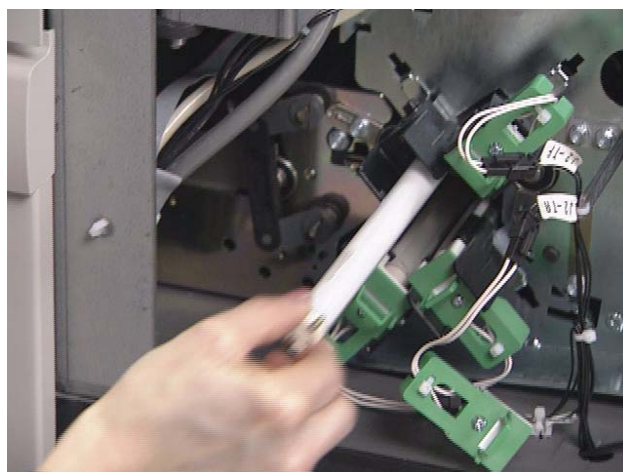
注意: 直前の操作されていた場合、ランプは高温になっています。ランプを交換する前に、スキャナーがオフになっていることと、少なくとも **10 分間** ランプを放置して、ランプが冷めていることを確認してください。

1. 折りたたみドアを開きます。

2. ランプ コネクタの緑のハンドルをつかみます。

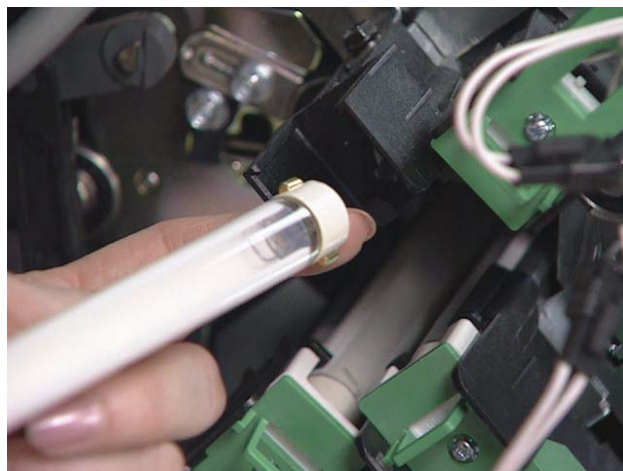


3. 黒のホルダの端を少し上に上げ、ランプ コネクタを取り外します。
4. ランプの端部をつかみ、まっすぐにランプをゆっくりと引き出します。



注： 他のほとんどの蛍光灯と同様に、これらのランプには少量の水銀が含まれています。このため、廃棄する場合は、自治体の規則に従って廃棄する必要があります。

5. ランプホルダに新品のランプを取り付けます。



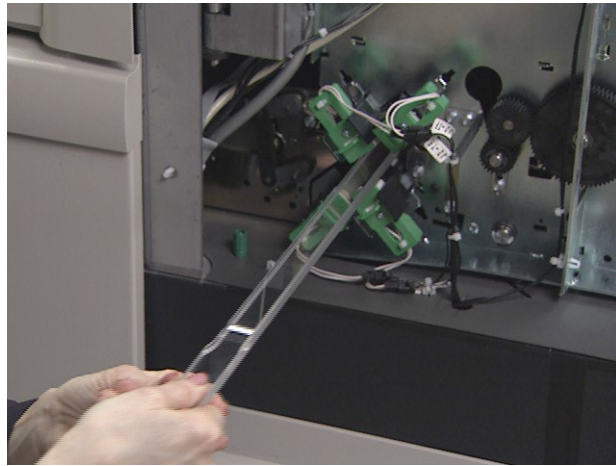
重要: ランプを取り付けるときは、イメージガイドにランプの透明な面が向いていることを確認してください。(注：上の図では、イメージガイドは取り付けられていません)。ランプは一度に1本交換するようにして、各ランプに正しいコネクタが使用されるようにしてください。そうでない場合、ランプは正しく機能しません。

6. ランプの端部をしっかりと押して、ランプのもう一方の端部をソケットに密着させます。
7. 緑のランプコネクタを取り付けて、しっかりと押し込みコネクタを完全に密着させます。
8. 折りたたみドアを閉じます。
9. 10分間放置して、ランプのウォームアップを行います。
10. スキャナーのキャリブレーションを行います。詳細については、第3章「オペレータコントロールパネルの機能」を参照してください。

イメージガイドの交換

イメージガイドを交換するには、次の手順に従います。

1. 折りたたみドアを開きます。
2. イメージガイドを取り外します。



3. 新品のアップー イメージガイドをスライドさせて取り付けます。切り込みの入った側を上に向けて、イメージガイドをいっぱいまで押し込み、スロットに完全に密着させます。
4. 新品のローアー イメージガイドをスライドさせて取り付けます。切り込みの入った側を上に向けて、イメージガイドをいっぱいまで押し込み、スロットに完全に密着させます。
5. 折りたたみドアを閉じます。

自動センタリング フィードのサイドガイド のカスタマイズ

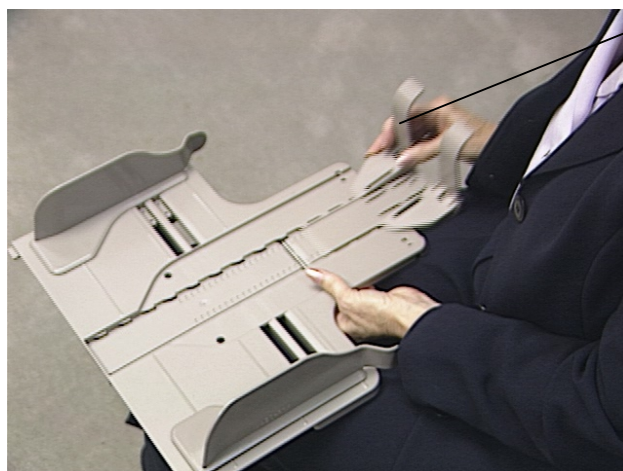
アウトプットトレイには、スペーサが取り付けられていて、これにより、サイドガイドは独立して動くことができます。サイドガイドを一緒に動かしたい場合(自動センタリング)、スキャナーに付属のギア付きスペーサを取り付けます。自動センタリング フィードのサイドガイドを交換するには、以下の手順を実行します。

必要なツール:フィリップス スクリュードライバ

1. アウトプットトレイを手前に引き、取り外します。



2. 最も広い位置までサイドガイドを開き、エンドストップを取り外して、トレイを逆さまにします。



終了シーケン

3. スクリュードライバを使用して、中央のネジを取り外します。



4. スペーサとワッシャを取り外します。



5. ラックの歯と位置を合わせて、ギア付きのスペーサを支柱に置きます。



6. ワッシャとネジを取り付けて、スペーサとワッシャがしっかりと固定されるまで締め付けます。

注： ネジを締め付けすぎないようにしてください。

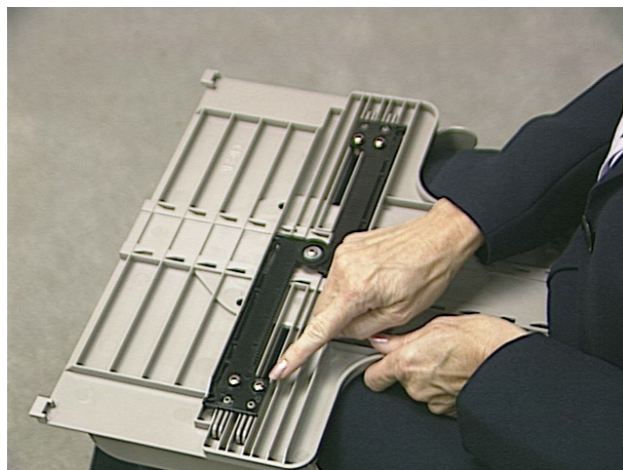
7. 右側を上にしてトレイを回転させ、エンドストップを取り付けて、ガイドが自由に動くことを確認します。
8. アウトプットトレイを取り付けます。

アウトプットトレイ サイドガイドの変更

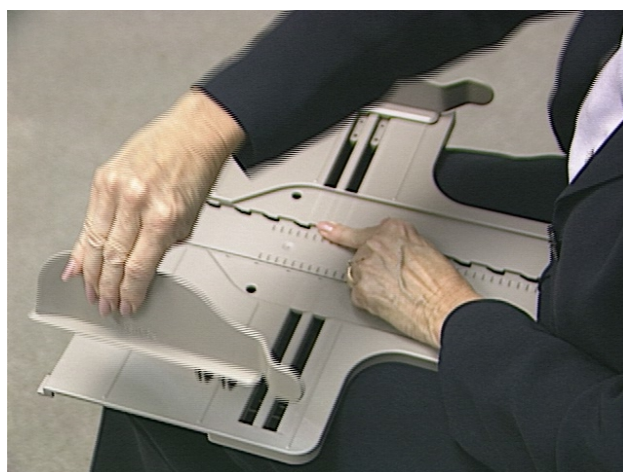
アウトプットトレイには、ショートサイドガイドとツールサイドガイドが用意されています。これらのガイドは容易に変更できます。

必要なツール: フィリップス スクリュードライバ

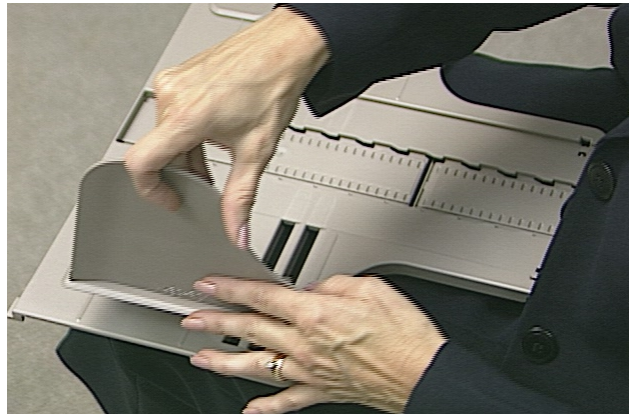
1. アウトプットトレイを取り外します。
2. エンドストップを取り外します。
3. トレーを裏返しにします。
4. スクリュードライバを使用して、ネジを取り外します。



5. トレーを回転させて元に戻し、ショート (またはツール) サイドガイドを取り外します。



6. 片方のトール (またはショート) サイドガイドを持ち、ガイドを位置決めして、その位置に保持します。



7. サイドガイドをその位置に保持した状態で、アウトプットトレイを裏返しにします。ネジを取り付けて、締め付けます。
8. 最初のサイドガイドの取り付けを完了したら、トレイを裏返しにして、もう片方のサイドガイドを取り付けて、手順6と7に従います。
9. エンドストップ (必要に応じてショートまたはトール) を取り付けます。
10. アウトプットトレイを取り付けます。



消耗品の注文

システムを適切に維持するために、以下の消耗品を購入できます。合衆国では 1-800-247-1234 の DI Supply にお電話ください。または、コダック 販売店までご連絡ください。

合衆国以外の地域では、コダック 販売店までご連絡ください。

説明	カタログ番号
キャリブレーションターゲット (50 枚)	149 1869
Emulsiclean ワイパー (24 枚)	853 5981
i800 シリーズ スキャナー フィーダ消耗品キット。フィーダ モジュール (2 個)、セパレーション ローラ アセンブリ (2 個)、プリセパレーションパッド (10 個)、交換タイヤ (50 個) が含まれています。	838 9181
イメージング ガイド セット。アッパー ガイドとローア ガイドが各 1 個含まれています。	156 4418
インク吸い取りキット (60 個)	140 1728
ペーパーパス クリーナー (50 枚)	169 0783
i800/3000/4000 スキャナー用プリンタ インク カートリッジ	826 7486
スキャナー シリーズ 3000/4000/7000/9000/i800 用プリンタ インク カートリッジ	135 5155
Staticide ワイパー (144 枚)	896 5519
スキャナー シリーズ 3000/5000/7000/i800 用白色イメージ ランプ (1 カートン)	876 6545
超軽量用紙用コダック フィーダキット。フィーダ モジュール (2 個)、セパレーション ローラ アセンブリ (2 個)、プリセパレーションパッド (10 個)、交換タイヤ (50 個) が含まれています。このキットは、極めて薄いドキュメントを限定的にスキャンするとき、交換用として使用されます。	880 3041

6 トラブルシューティング/メッセージ

この章では、次の項目について説明します。

- ドキュメント搬送路からドキュメントを取り除く手順
- ドキュメントの印字での問題に関する情報
- 表示されるメッセージとメッセージを消去するための解決法
- 問題解決チャートとサービスに問い合わせる時期

ドキュメント搬送路から ドキュメントを取り除く方法

まれに、ドキュメントが搬送部に詰まってスキャナーが停止し、オペレータコントロールパネルにメッセージが表示されることがあります。これにより、スキャナーは使用できなくなります。

ドキュメントが詰まってしまう条件には、次のことが考えられます(これらの条件に限定されるわけではありません)。

- ドキュメントが極端に傾いてフィードされた場合
- ドキュメントが破損している、かなり折り返されている、あるいはしわがよっている場合
- ステープやクリップが取り除かれていない場合
- イメージガイドが正しく取り付けられていない場合
- バッフルプレートがしっかりと閉じられていない場合

重要: スキャナーのコンポーネントにアクセスする場合は、**緑色のハンドル**を使用してください。

フロントカバーからのアクセス

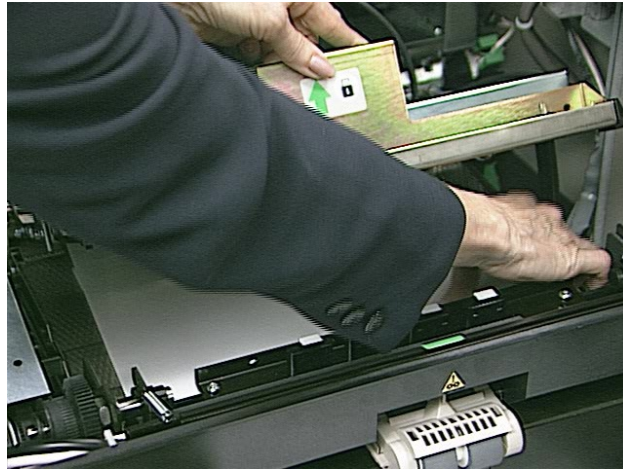
1. 目視で確認できるドキュメントをエレベータトレイとアウトプットトレイの部分から取り除きます。



2. [ジョグ] ボタンを選択して、他の詰まったドキュメントを取り除きます。

それでも詰まったドキュメントがある場合は、次の手順を実行します。

3. スイング ドアを開きます。
4. 水平搬送プレートを持ち上げて、ドキュメントを取り除きます。



5. 水平搬送プレートを閉じます。
6. スイング ドアを閉じます。

トップカバーからのアクセス

7. トップカバーを開きます。
8. 排紙搬送プレートを開き、詰まったドキュメントを取り除きます。



9. 排紙搬送プレートを下げます。

10. アッパー ターン ローラを開き、詰まったドキュメントを取り除きます。



11. アッパー ターン ローラを閉じます。

12. トップ カバーを閉じます。

ドキュメント搬送路からドキュメントを取り除く方法 – 折りたたみドアからのアクセス

ドキュメントが時々イメージガイド部分に詰まることがあります。この場合は、次の手順を実行します。

13. 折りたたみドアを開きます。

14. イメージガイドを取り外します。

15. 垂直搬送プレートを下げ、詰まったドキュメントを取り除きます。



16. 水平バッフルプレートをスライドさせ、詰まったドキュメントを取り除きます。



17. 水平バッフルプレートをスライドさせて元の位置に戻し、垂直搬送プレートを閉じます。

注記： 垂直搬送プレートが取付位置にしっかりとロックされていることを確認してください。

18. イメージガイドを取り付けます。
19. 折りたたみドアを閉じます。
20. スキャナーをホストからオンにします。

メッセージ リスト

以下は、オペレータ コントロール パネルに表示されるメッセージとその解決方法のリストです。解決方法の多くは、「ユーザーズ ガイド」の該当する節で説明されています。

以下のメッセージが表示された場合、それに続く解決方法を実行してください。

- エラー がホスト システムに表示されるかどうか判断します。
- ホスト システムにエラーが表示されない場合、次の方法でエラーを解決します。
- 表示されている解決方法でエラーが解決できない場合は、再起動してください。

再起動の順序

1. バッファに現在保存されている情報がすべてホスト システムに転送されるまで待ちます。
2. スキャナーの電源をオフにします。
3. 30 秒待ちます。
4. スキャナーの電源を再びオンにします。

再起動してもエラーの状態が解決されない場合は、サービス センターにお問い合わせください。

メッセージ	説明
メッセージ 解決方法	スグニ キャリブレーション ヲ シテクダサイ スキャナーをすぐにキャリブレーションする必要があります。キャリブレーションの手順については、第 3 章「オペレータ コントロール パネルの機能」を参照してください。
メッセージ 解決方法	スグニ キャリブレーション ヲ シテクダサイ 現在のバッチが完了したらスキャナーをキャリブレーションしてください。キャリブレーションの手順については、第 3 章「オペレータ コントロール パネルの機能」を参照してください。
メッセージ 解決方法	キャリブレーション シツパイ 再起動してからスキャナーを再びキャリブレーションしてください。正しいキャリブレーション シートが使用されているかどうか確認します。イメージング ガイドをクリーニングしてください。正しいキャリブレーション シートについては、第 3 章「オペレータ コントロール パネルの機能」セクションを参照してください。メッセージが消えない場合、サービス センターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	ャリブレーション セイコウ 表示だけのメッセージです。スキャナーが正常にキャリブレーションされました。

メッセージ	説明
メッセージ 解決方法	<p>ドキュメントノジュンビヨカクニンシテクダサイ ドキュメントはスキャンできるように正しく準備されていません。ドキュメントの正しい準備方法については、第2章「スキャナーの使用法」を参照してください。</p> <p>ドキュメントがスキャナーに入るときに、密着しすぎています。セパレーションローラとプリセパレーションパッドを交換してください。セパレーションローラとプリセパレーションパッドの交換については、第5章「メンテナンス」を参照してください。</p> <p>クロッピングパラメータが正しく設定されていません。クロッピングが「ドキュメントに合わせる」に設定されている場合、クロップされた部分は、ドキュメントの寸法の範囲内である必要があります。詳細については、「イメージ処理ガイド」第3章「Twainデータソース」または第4章「ISISドライバを使用する手順」を参照してください。</p> <p>搬送部分を通じたドキュメントにスキャンされなかったものがあります。イメージを取り込めなかったドキュメントをすべて再送してください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>イメージガイドヲソウジシテクダサイ イメージガイドまたはホワイトパッチが汚れています。</p> <p>イメージガイドが完全に密着していません。イメージガイドが完全に密着するまで押し込んでください。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>S1 センサヲソウジシテクダサイ S1 (プレイメージング) センサが汚れています。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「搬送部のクリーニング」を参照してください。このセンサのおよその位置については、この章の最後にあるダイアグラムを参照してください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>S2 センサヲソウジシテクダサイ S2 (ポストイメージング) センサが汚れています。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「搬送部のクリーニング」を参照してください。このセンサのおよその位置については、このドキュメントの最後にあるダイアグラムを参照してください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>パネルボタンヲカクニンシテクダサイ コントロールパネルのボタンが押されたままになっています。すべてのボタンを解除して、再起動してください。メッセージが消えない場合、サービスセンターにお問い合わせください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>ジャムガハッセイシマシタ スキャナー内にドキュメントが詰まっています。ペーパーパスから紙を取り除いてください。手順については、この章で前述の「ドキュメント搬送路からドキュメントを取り除く方法」を参照してください。</p> <p>搬送部分を通じたドキュメントにスキャンされなかったものがあります。イメージを取り込めなかったドキュメントをすべて再送してください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>エレベータセルフテストシッパイ エレベータのセルフテストに異常がありました。フィードモジュールが取り付けられていないか、正しく取り付けられていない可能性があります。正しい手順については、第5章「メンテナンス」の「フィードモジュールの交換」を参照してください。スキャナーを再起動してください。それでも問題が解決されない場合は、サービスセンターにお問い合わせください。</p>
メッセージ 解決方法	<p>エラー; スキャナヲリセットシテクダサイ スキャナーをリセットしなければ解決できない問題が発生しました。スキャナーの電源をオフにしてからもう一度オンにしてください。それでもエラーが解決されない場合は、サービスセンターにお問い合わせください。</p>

メッセージ	説明
メッセージ 解決方法	フィーダセルフテストシッパイ ペーパーフィーダのセルフテストに異常がありました。スキャナーを再起動してください。それでも問題が解決されない場合は、サービスセンターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	ヒョウメンイメージキャリブレーションシッパイ フロントカメラのイメージングキャリブレーションに失敗しました。イメージガイドをクリーニングし、もう一度キャリブレーションを行ってください。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「イメージガイドのクリーニング」を参照してください。
メッセージ 解決方法	イメージアドレスフィールドフル イメージアドレスフィールドのいずれかで設定カウントの最大値を超えています。レベルの変更が適切になされているかどうか確認するか、スキャナーを設定しなおしてフィールドが大きな値を許容できるようにします。
メッセージ 解決方法	イメージバッファがモウスグフルデス イメージバッファがもうすぐフルになるためフィーダが停止し、搬送は実行したままになっています。バッファがフルの状態であれば直前の状態から処理をやり直すことができます。
メッセージ 解決方法	イメージバッファフル イメージバッファが最大値を超えています。 搬送部分を通じたドキュメントにスキャンされなかったものがあります。イメージを取り込めなかったドキュメントをすべて再送してください。
メッセージ 解決方法	イメージガバッファニコッテイマス イメージがまだバッファにある状態でスキャナーを実行しようとしてしまいました。すべてのイメージを回復することはできませんでした。残っているイメージを回復するか、バッファをクリアする必要があります。バッファをクリアすると、スキャナーを再び使用できます。
メッセージ 解決方法	ドア（インターロック）ガトジラレマシタ 表示だけのメッセージです。すべてのドアが閉じています。
メッセージ 解決方法	スベテノドアヲトジテクダサイ 開いているドアがあるか、ドアを最後に開いた時点からエラーが解決されていません。すべてのドアが閉じているかどうか確認して、コントロールパネルの[リターン]矢印(左ボタン)を押してエラーを解決します。
メッセージ 解決方法	IAレベルガムコウデス 入力したイメージアドレスのレベルが無効です。正しいイメージアドレスレベルを再び入力してください。イメージアドレスの指定についての詳細は、 コダック i800 シリーズ スキャナー「イメージ処理ガイド (A-61510)」を参照してください。
メッセージ 解決方法	IPBニファームウェアガアリマセン イメージ処理ボードにファームウェアがありません。スキャンを実行する前に、すべてのイメージ処理ボードにファームウェアをインストールする必要があります。サービスセンターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	ランプノジュンビガデキテイマセン ランプが十分温まってからキャリブレーションやスキャンを実行してください。キャリブレーションのガイドラインと手順については、第3章「オペレータコントロールパネルの機能」を参照してください。
メッセージ 解決方法	ランプノジュンビガカンリョウシテイマス ランプは、スキャンできるように十分暖まっていますが、最適なイメージ品質は、ランプを約10分間安定させた後に得ることができます。

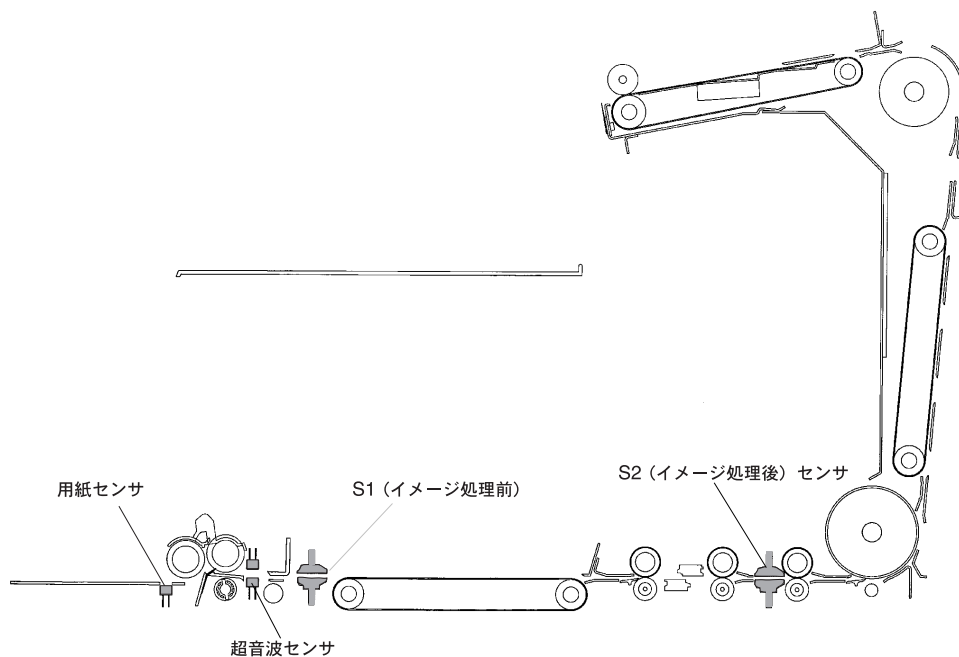
メッセージ	説明
メッセージ 解決方法	キカイテキ キャリブレーションニ シッパイシマシタ 機械的キャリブレーションに失敗しました。正しいキャリブレーション シートが使用されていることと、シート上の矢印が搬送部分に先にフィードされることを確認してください。詳細については、第3章「オペレータ コントロール パネルの機能」の「スキヤナのキャリブレーションを実行する」を参照してください。
メッセージ 解決方法	モーターノ セルフテストニ シッパイ 用紙搬送モーターのセルフテストに失敗しました。スキヤナーを再起動してください。それでも問題が解決されない場合は、サービス センターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	ジュウソウマイスウ: 表示だけのメッセージです。「カウント オンリー」モードで重送枚数を表示します。
メッセージ 解決方法	ジュウソウガ ケンシュツサレマシタ 長さ確認条件または超音波重送条件により、重送が検出されました。スキヤナーのプログラムによっては、ホスト コンピュータからスキヤナーを再起動する必要があります。重なったドキュメントは再スキャンする必要があるため、必ずホストの画面でイメージを確認してください。この条件は、ドキュメントの分離が不十分なために発生する可能性があります。セパレーション ローラとプリセパレーション パッドを交換してください。手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。
メッセージ 解決方法	ジュウソウ セルフテスト シッパイ 重送検知サブシステムのセルフテストに異常がありました。ドキュメントのスキャンはできますが、重送検知機能は動作しません。セルフテストを再び実行するか、再起動します。それでも問題が解決されない場合は、サービス センターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	ジュウソウ キャリブレーションニ シッパイ 重送キャリブレーションに失敗しました。センサーが清潔であることと、正しいキャリブレーション シートを使用していることを確認してください。もう一度キャリブレーションを行います。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「搬送部分のクリーニング」を参照してください。このセンサのおよその位置については、このドキュメントの最後にあるダイアグラムを参照してください。詳細については、第3章「オペレータ コントロール パネルの機能」の「スキヤナのキャリブレーションを実行する」を参照してください。
メッセージ 解決方法	トレイニヨウシガ アリマセン エレベータ トレイに用紙がない状態でスキヤナーが開始されました。エレベータ トレイに用紙をセットしてから再スタートしてください。
メッセージ 解決方法	ページマイスウ: 表示だけのメッセージです。「カウント オンリー」モードでページ枚数を表示します。
メッセージ 解決方法	パッチマイスウ: 表示だけのメッセージです。「パッチ テスト」モードでパッチがあるドキュメントの枚数を表示します。
メッセージ 解決方法	パッチ ハードウェアガ アリマセン パッチ リーダー ヘッドがスキヤナーに正しく接続されていません。パッチ ヘッドが正しく密着して取り付けられていることを確認し、もう一度実行してください。それでも問題が解決されない場合は、サービス センターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	デンゲントウニュー セルフテスト セイコウ 表示だけのメッセージです。スキヤナーのセルフテストが正常に実行されました。

メッセージ	説明
メッセージ 解決方法	プリントヘッドガ アリマセン プリントヘッドがない状態でドキュメントプリンタを使用しようとした。プリントヘッドとプリンタボードにケーブルが正しく接続されていることを確認してください。プリントヘッドアセンブリにプリントカートリッジが取り付けられていることを確認してください。手順については、第4章「ドキュメントプリンタとパッチリーダー」を参照してください。
メッセージ 解決方法	イメージウラメン イメージキャリブレーション シツパイ リアカメラのキャリブレーションに失敗しました。イメージガイドをクリーニングし、もう一度キャリブレーションを行ってください。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「イメージガイドのクリーニング」を参照を参照してください。
メッセージ 解決方法	サイソウシテクダサイ ドキュメントがスキャナーに入るときに密着しすぎています。セパレーションローラとプリセパレーションパッドを交換してください。手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。 搬送部分を通過したドキュメントにスキャンされなかったものがあります。イメージを取り込めなかったドキュメントをすべて再送してください。 ドキュメントの穴や破損により、排紙センサで誤まった枚数が検出されています。左側のフィードタイヤの下を穴や破損部分が通過しないようにドキュメントの位置を調整してください。
メッセージ 解決方法	スグニ ランプ ヲ コウカンシテクダサイ すぐに4つのランプすべてを交換してください。ランプ交換の手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。
メッセージ 解決方法	S1 センサ フキン ヲ カクニイ シテクダサイ S1 センサがドキュメントによってブロックされている可能性があります。この章で前述の手順に従って、ペーパーパスをきれいにしてください。このセンサのおよその位置については、このドキュメントの最後にあるダイアグラムを参照してください。
メッセージ 解決方法	S2 センサ フキン ヲ カクニイ シテクダサイ S2 センサがドキュメントによってブロックされている可能性があります。この章で前述の手順に従って、ペーパーパスをきれいにしてください。このセンサのおよその位置については、このドキュメントの最後にあるダイアグラムを参照してください。
メッセージ 解決方法	セルフテスト シツパイ スキャナーのサブシステムでセルフテストに異常がありました。サブシステムの機能は使用できません。電源をオフにしてからもう一度オンにして、別のセルフテストを実行してください。それでも問題が解決されない場合は、サービスセンターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	セルフテスト セイコウ 表示だけのメッセージです。セルフテストが正常に実行されました。
メッセージ 解決方法	レンゾクカウント オーバー 連続カウントが最大値を超えています。スキャナーを設定し直して、連続カウントが大きな値を許容できるようにします。
メッセージ 解決方法	セツテイガ マチガッテイマス スキャナーに競合する設定または受け入れられない設定がダウンロードされました。たとえば、フロントを200 dpi (白黒)、リアを300 dpi (白黒) に設定したり、コダック i810 スキャナーまたは i830 スキャナーでカラー スキャンを実行しようとした場合です。

メッセージ	説明
メッセージ 解決方法	ジッコウデキマセン すべてのドアが閉じているかどうか確認してください。すべてのドアが閉じている場合は、再起動します。それでもエラーが解決されない場合は、サービスセンターにお問い合わせください。
メッセージ 解決方法	コマンドヲジッコウデキマセン 現在の状態では実行できない機能が選択されたか、無効なパラメータで実行されました。たとえば、スキャナーがオフの状態で行おうとしたり、ペーパージャムの状態でスキャナーを実行しようとした場合です。

ドキュメントセンサの位置

下の図は、ドキュメントセンサの場所を表示しています。




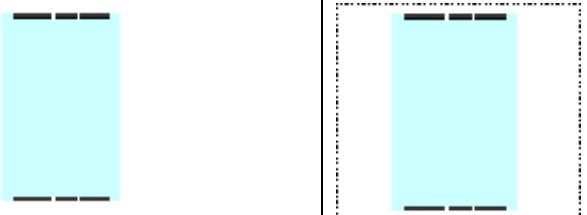
問題解決チャート

次の表を参考にして、コダック スキャナー i800 シリーズの使用時に発生する問題の解決方法を確認してください。

問題	解決方法
スキャナーの電源が入らない (コントロールパネルが点灯しない)	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードがスキャナーの背後にある差込口にしっかり接続されている。 壁のコンセントに問題がない(資格のある電気技術者にお問い合わせください)。 電源スイッチがオンになっている。
ドキュメントをスキャンまたはフィードできない	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが接続されていて、電源がオンになっている。 すべてのドアが完全に閉じている。 スキャナーがホストからオンになっている。 ドキュメントとフィードモジュールが接触している。 厚いドキュメントの場合はフィード中にギャップリリースレバーを下げている。 サイズ、重さ、バッチの高さなど、ドキュメントが仕様に合っている。 フィードモジュールおよびセパレーションローラの磨耗状態を確認して、必要に応じて交換してください。
画質が悪い、または低下する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> スキャナーがキャリブレーションされている(第3章「オペレータコントロールの機能」の「スキャナーのキャリブレーション」を参照してください)。 イメージガイドが汚れていない(第5章「メンテナンス」の「イメージガイドのクリーニング」を参照してください)。 ランプのタイムアウト時間が10分以上に設定されている。 <p>画質の悪さが改善されない場合やスキャナーのキャリブレーションに異常がある場合は、ランプを交換してください(第5章「メンテナンス」の「ランプの交換」を参照してください)。スキャナーのキャリブレーションは、新しいランプをとりつけた後に行ってください。キャリブレーションは、新しいランプをオンにして10分以上経過してから行ってください。</p>
最初にスキャンしたイメージがとても暗い	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ランプをオンにして3分以上経過してから再びスキャンを実行してください。 ランプのタイムアウト時間が10分以上に設定されている。

問題	解決方法
<p>キャリブレーションができない</p>	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ランプをオンにしてから 10 分以上経過している。 • 正しいキャリブレーションシートを使用して方向も適切である。 • イメージガイドが汚れていない(「メンテナンス」の「イメージガイドのクリーニング」を参照してください)。 • 搬送部分に障害となるものがない。 • センサが汚れていない。 • ランプのタイムアウト時間が 10 分以上に設定されている。 <p>キャリブレーションを再び実行します。それでもキャリブレーションできない場合は、ランプを交換してください(第 5 章「メンテナンス」の「ランプの交換」を参照してください)。スキャナーのキャリブレーションは、新しいランプをとりつけた後に行ってください。キャリブレーションは、新しいランプをオンにして 10 分以上経過してから行ってください。</p>
<p>ジャムが発生する</p>	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アウトプットトレイおよび横のガイドが、スキャンするドキュメントの長さに合わせて調整されている。 • 詰まったドキュメントはすべて搬送部分から取り除かれている。 • サイズ、重さ、バッチの高さなど、ドキュメントが仕様合っている。 • センサが汚れていない。 • セパレーションローラ、フィードモジュール、およびプリセパレーションパッドが汚れておらず、正しく取り付けられている。 • 搬送ローラが汚れていない。 • イメージガイドが正しく取り付けられている。
<p>エレベータトレイが振動していたり途中で止まったりしてしまう</p>	<p>エレベータトレイまたは延長部分が傾いている可能性があります。それを修正するには、以下を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エレベータトレイをゆっくりとできるだけ下げます。無理をしないでください。 2. スキャナーをホストからオフにします。 3. スキャナーをホストからオンにします。 <p>それでも問題が解決されない場合は、この章で前述の説明に従って再起動し、スキャナーの電源を入れ直してください。</p>
<p>長い原稿がフィードされない、またはジャムが発生する</p>	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 長いドキュメントをサポートするためにエレベータトレイの延長部分が引き出されている。 • アウトプットトレイがスキャンするドキュメントの長さに合わせて調整されている。 • アウトプットトレイが正しく取り付けられている。
<p>再送エラーが頻繁に発生する</p>	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • スキャナーがキャリブレーションされている。 • ドキュメントが 6.98 cm (2.75 インチ) よりも長い。 • ドキュメントに貼り付けられている部分は正しく付着している。 • すべてのドアが完全に閉じている。 <p>それでも問題が解決されない場合は、ホストで感度を調整してみてください。</p>

問題	解決方法
アウトプットトレイを調節できない	アウトプットトレイが正しく取り付けられているかどうか確認してください。
スキャン後ローラの跡がドキュメントに付く	フィードモジュールローラ、セパレーションローラおよび搬送ローラの汚れを取り除いてください(第5章「メンテナンス」を参照してください)。
イメージに縦の線が現れる	<ul style="list-style-type: none"> 正しい、汚れていないキャリブレーションシートを使用してキャリブレーションを行っていることを確認します。スキャナーに付属のキャリブレーションシートを使用します。追加のキャリブレーションシートを注文することもできます。詳細については、第5章「メンテナンス」の「消耗品の注文」を参照してください。 イメージガイドが正しく取り付けられている。イメージングガイドをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「イメージガイドのクリーニング」を参照してください。
ドキュメントの印字の質が良くない	<p>スキャンしたドキュメントの印字状態に問題がある場合は、以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> インクカートリッジが詰まっています。第4章「ドキュメントプリンタとパッチ」の手順に従って、インクカートリッジをパージします。それでもインクが正しく出ない場合は、インクカートリッジを交換してください。使用済みのインクカートリッジは、適切に廃棄してください。 インクカートリッジが空ではないことを確認します。空の場合は、カートリッジ内部のインクブラダーが平らになっています。 インクカートリッジがドキュメントプリンタに正しく取り付けられていることを確認します。 インクカートリッジが印字するための正しい位置にあることを確認します。 インクカートリッジがスロットにしっかりと取り付けられていることを確認します。 プリンタのすべてのコネクタがしっかりと接続されていて、プリンタケーブルが折れたりせず白いクリップにしっかりと取り付けられていることを確認します。 プリンタがホストソフトウェアから実行されていて、印字したい文字列が指定されていることを確認します。 オペレータコントロールパネルから印字テストを実施します(第3章「オペレータコントロールパネルの機能」の「印字テストの実行」を参照してください)。
ドキュメント全体を通じて、イメージに上部から白線が現れます	<ul style="list-style-type: none"> イメージガイドが正しく取り付けられている。イメージングガイドをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第5章「メンテナンス」の「イメージガイドのクリーニング」を参照してください。 イメージガイドにひっかき傷がついていないか確認します。イメージガイドに傷がある場合は、交換してください。手順については、第5章「メンテナンス」を参照してください。 <div style="text-align: center;">  </div>

問題	解決方法
<p>イメージの上部に白の線が現れ、ドキュメントのイメージング部で止っています。</p>	<p>水平バッフル プレートの黒のバッカー ストリップをクリーニングしてください。クリーニングの手順については、第 5 章 「メンテナンス」の「垂直転送部分のクリーニング」を参照してください。</p> <div style="text-align: center;">  </div>

〒104-0033
東京都中央区新川 2-27-1
東京住友ツインビル
コダック株式会社
コマーシャルイメージング事業部

コダックは、イーストマンコダック社の商標
です。

再生紙を使用しています。

DOCUMENT
IMAGING



INNOVATION YOU CAN COUNT ON™

A-61169_ja 7/03

CAT No.

©イーストマンコダック社、2003

Printed in U.S.A.